



# Fiery FS600 Pro お よび Fiery FS600

カット紙プリンター対応 Fiery サーバーの  
新機能に関する製品ガイド





## 目次

はじめに.....	5
イノベーションと基礎領域別の新機能.....	6
カラーとイメージング.....	7
<b>Adobe PDF Print Engine 6.0</b> .....	7
自動カラー管理.....	7
ワンステップカラー管理.....	8
ゼロタッチ再キャリブレーション.....	9
<b>Fiery TrueBrand がすべてのカット紙対応サーバーで利用可能</b> .....	10
<b>Fiery Edge スポットカラー処理</b> .....	11
<b>Fiery Spot Pro の改良</b> .....	12
設定可能な Fiery Edge スポットカラー処理 .....	12
スポットカラーグループの有効化/無効化.....	14
スウォッチブックでのデルタ E 測定値の表示.....	16
<b>Fiery ImageViewer の改良</b> .....	16
ImageViewer 曲線でスポットカラーを保持.....	17
画像領域の表示 .....	18
ルーラーのガイドライン .....	18
ユーザビリティの改善.....	18
<b>PrintWide 2020 ソースプロファイルのサポート</b> .....	19
<b>カットバケットラッピング</b> .....	20
<b>インライン測定器のサポート強化</b> .....	21
ダイナミックパッチレイアウトのサポート .....	21
測定精度の向上 .....	21
<b>特殊カラー関連の機能強化</b> .....	22
特殊カラーのオーバープリント制御.....	22
サブセットのプロファイリング .....	23
生産性.....	24
<b>インテリジェント HyperRIP</b> .....	24



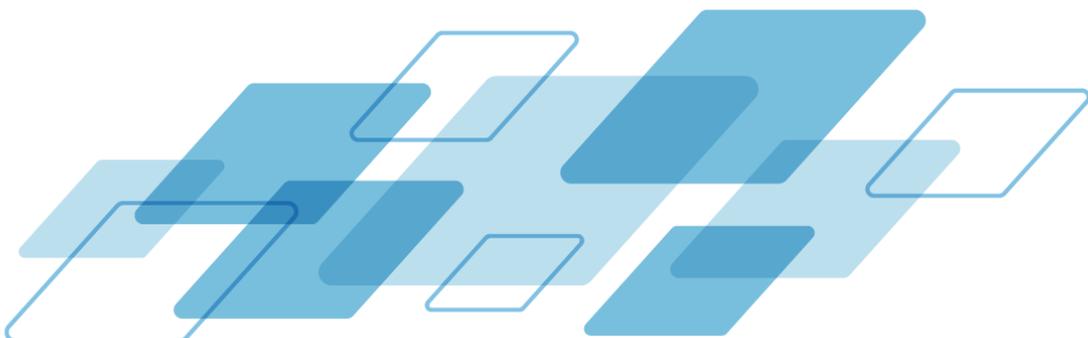


<b>Fiery Command WorkStation 経由の Fiery JobFlow へのジョブ送信</b> .....	<b>27</b>
<b>Fiery JobExpert の改善</b> .....	<b>29</b>
PostScript のサポート .....	29
レコードの長さの確認.....	30
オプションのあるプリセット設定 .....	<b>31</b>
<b>管理</b> .....	<b>33</b>
<b>Fiery プリントスケジューラー</b> .....	<b>33</b>
<b>ジョブグループ</b> .....	<b>34</b>
<b>メディアカタログ</b> .....	<b>37</b>
サイズカタログ .....	37
<b>Paper Catalog/メディアカタログのグローバルな編集</b> .....	<b>39</b>
<b>視覚的画像シフト</b> .....	<b>40</b>
<b>白黒外部サーバー向け Fiery Preflight</b> .....	<b>42</b>
<b>Fiery Command WorkStation の機能強化</b> .....	<b>43</b>
簡単なジョブのキャンセル.....	43
サーバーIP アドレスの可視化.....	43
ジョブ名の迅速な編集.....	44
拡張された出力プロファイル名 .....	44
カスタマイズ可能なサーバーリスト .....	44
Paper Catalog/メディアカタログのお気に入り.....	45
印刷の残り時間 .....	45
メイクレディマルチタスク処理のパフォーマンス環境設定 .....	46
<b>連携</b> .....	<b>48</b>
<b>Microsoft Windows 10 IoT Enterprise LTSC 2021</b> .....	<b>48</b>
<b>Debian 11 Linux</b> .....	<b>48</b>
<b>IPP 2.0 対応</b> .....	<b>49</b>
<b>Mopria Print Service に準拠</b> .....	<b>49</b>
<b>Microsoft のユニバーサルプリントのネイティブサポート</b> .....	<b>50</b>
<b>Fiery IQ クラウドサービスの統合</b> .....	<b>52</b>
<b>セキュア</b> .....	<b>53</b>
<b>FIPS 140-2 準拠のデータ暗号化</b> .....	<b>53</b>
<b>セキュアイレース (NIST 800-88 準拠)</b> .....	<b>53</b>





<b>SSO</b> (シングルサインオン) でのログイン .....	<b>54</b>
<b>Fiery</b> 高セキュリティキット <b>v1.0</b> .....	<b>54</b>
修正/削除された機能 .....	<b>56</b>
<b>Fiery</b> ラーニング.....	<b>58</b>
無料の学習リソース.....	<b>58</b>
<b>Fiery</b> 認定プログラム .....	<b>58</b>
<b>Fiery</b> コミュニティ .....	<b>60</b>
その他のリソース.....	<b>61</b>



## はじめに

新しい Fiery® FS600 Pro/FS600 システムは、革新的でインテリジェントなテクノロジーを利用して、変化するプロダクション印刷環境のニーズに対応し、今後の成長に合わせて拡張できます。最新リリースに含まれる新しい機能には、以下のようなお客様にとってのメリットがあります。

- Fiery HyperRIP モード選択が自動化され、効率性が向上します。
- 自動化がより使いやすく、直接アクセスできるようになったことで用紙カラー管理が効率化され、スポットカラーの精度が向上します。
- 組織のセキュリティプロトコルに準拠でき、法人のお客様にとって重要な機能が提供されます。
- オペレーターがジョブ印刷をより細かく制御したり、複数のジョブに特定のプロパティをすばやく適用したり、用紙管理を効率化したりできます。

Fiery FS600 は Linux ベースの組み込みサーバー、Fiery FS600 Pro は Windows ベースの外部サーバーで利用できます。Fiery FS600 Pro という言葉は、システムレベルのソフトウェア全般のことを指す場合にも使用されます。

Fiery DFE は、セキュリティ、信頼性、拡張性、接続性、ユーザー中心のオペレーションを重視した強固な基盤の上に成り立っています。Fiery FS600 Pro サーバーの新機能によって、Fiery の基礎領域はより強固になり、日常業務の信頼性とセキュリティが向上します。この製品ガイドでは、イノベーション領域や、そうした基本要素ごとの新機能を紹介します。

このガイドの各機能のセクションの末尾には、その機能の使用可否を示す重要情報も含まれています。

使用可否	定義
カット紙対応外部サーバー	カット紙プリンター対応 Windows ベースサーバー
カット紙対応組み込みサーバー	カット紙プリンター対応 Linux ベースサーバー
標準	デフォルトで利用可能
オプション	使用するためにはオプションのソフトウェアパッケージが必要
なし	使用不可
Fiery サーバーの資料でサポート状況を確認	製品ごとに使用可否が異なる
サーバー	外部または組み込みサーバー用の FS600 Pro/FS600 ソフトウェアに組み込まれている機能。旧バージョンの Fiery ソフトウェアでは使用不可
クライアント	Fiery Command WorkStation® 6.8 の一部として使用可能な機能



## イノベーションと基礎領域別の新機能

 カラーとイメージング	 生産性	 管理	 連携
<ul style="list-style-type: none"> <li>• Adobe PDF Print Engine 6.0</li> <li>• 自動カラー管理</li> <li>• Fiery TrueBrand がすべてのカット紙対応サーバーで利用可能</li> <li>• Fiery Edge スポットカラー処理</li> <li>• Fiery Spot Pro の改良</li> <li>• Fiery ImageViewer の改良</li> <li>• カットバックトラッキング</li> <li>• PrintWide 2020 ソースプロファイルのサポート</li> <li>• インライン測定器のサポート強化</li> <li>• 特殊カラー関連の機能強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• インテリジェント HyperRIP**</li> <li>• Fiery Command WorkStation® 経由の Fiery JobFlow® へのジョブ送信**</li> <li>• Fiery JobExpert の改良</li> <li>• オプションのあるプリセット設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Fiery プリントスケジューラー</li> <li>• ジョブグループ</li> <li>• メディアカタログ</li> <li>• 視覚的画像シフト</li> <li>• グローバル用紙/メディアカタログエントリの編集</li> <li>• 白黒外部サーバー向け Fiery Preflight**</li> <li>• Fiery Command WorkStation の機能強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Microsoft® Windows 10 IoT Enterprise LTSC 2021**</li> <li>• Debian 11 Linux*</li> <li>• IPP 2.0 対応</li> <li>• Mopria® Print Service への準拠</li> <li>• Microsoft のユニバーサルプリントのネイティブサポート</li> <li>• Fiery IQ® クラウドサービスの統合</li> </ul>



### セキュア

- FIPS 140-2 準拠のデータ暗号化\*\*
- セキュアイレース (NIST 800-88 準拠) \*\*
- SSO (シングルサインオン) でのログイン\*\*
- Fiery 高セキュリティキット v1.0\*\*
- IPP 2.0 対応
- Mopria® Print Service への準拠

\* Linux ベースの Fiery 組み込みサーバーでのみ利用可能

\*\* Linux ベースの Fiery 外部サーバーでのみ利用可能

青字で表示されているのは Fiery Command WorkStation 6.8 の一部として使用可能な機能です。

注意：機能はプリントエンジンのモデルによって異なります。利用できる機能を確認するには、各製品のデータシート、または機能の表を参照してください。

## カラーとイメージング

### Adobe PDF Print Engine 6.0

Adobe PDF Print Engine は、Adobe が提供する PDF ベースの RIP です。PDF ジョブを PostScript に変換せずに直接処理することができ、透明度を含む PDF ファイルで起こりうる潜在的なエラーを予防できます。



Adobe PDF Print Engine

エンドツーエンドのネイティブ PDF ワークフローがサポートされているので、デザインから印刷に至るまで出力の一貫性と柔軟性を高めるのに役立ちます。

Fiery FS600 Pro サーバーには、PDF/X-6 ファイルと PDF/VT-3 ファイルにも対応している Adobe PDF Print Engine 6.0 が付属します。



[Web ページに移動する](#)

#### メリット：

- ドキュメントの画面上の表示と一致する高品質の出力
- システムリソースの使用量を最小限に抑えた、高速かつ効率的な印刷処理

#### 使用可否：

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	オプション - Fiery JobExpert と PDF Processing Kit が必要
サーバー機能かクライアント機能か	サーバー

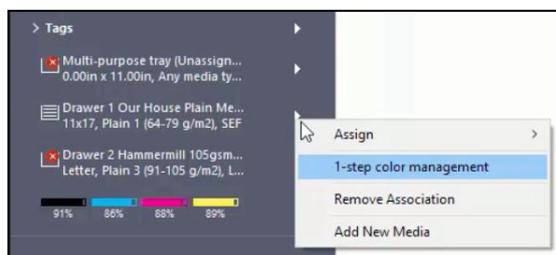
### 自動カラー管理

Fiery 自動カラー管理は、連携する 2 つの機能により、ユーザーの経験レベルに関係なく、優れたカラーを簡単に実現できます。用紙のキャリブレーションとプロファイリングをワンステップで行うことができます。その後は、インライン測定器を使用した手動操作ゼロの完全自動再キャリブレーションにより、カラーの一貫性が保たれます。このように、さまざまなことが Fiery Command WorkStation 内で完結します。

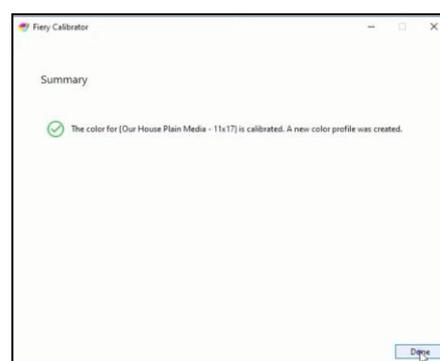
## ワンステップカラー管理

この革新的な用紙カラー管理機能では、キャリブレーションと用紙プロファイル作成が単一の操作に統合されています。選択した用紙トレイを右クリックすると、ウィザード形式の短いカラー管理プロセスが開始されます。新しい用紙のプロダクションの準備も、わずか4クリックで完了します。オペレーターが特に何も選択しなくても、高品質のカスタムキャリブレーションとプロファイルを作成できます。

Fiery Command WorkStation に用紙が「認識」されると、ワンステップカラー管理を開始する際に再キャリブレーションを1回実行するだけでよくなるので、高品質の出力結果を維持するプロセスがよりスピーディになります。



用紙トレイに対して開始された1ステップカラー管理



新しい用紙のキャリブレーションとプロファイル作成が3クリックで完了

この機能は、手動測定器でもインライン測定器でも動作しますが、インライン測定器を使用すると最大限の自動化を実現できます。

### メリット：

- 用紙カラー管理のプロセスが自動化され、効率性が向上します。
- キャリブレーションとプロファイル作成に要する時間が、以前の方法に比べて60%以上短縮されます。
- あらゆる用紙で可能な限り最高の色域と品質を簡単に実現できます。
- カラー管理の専門知識がなくても高品質の結果を得られます。
- 用紙のプロダクションの準備のために Fiery Command WorkStation ワークスペースを離れる必要がありません。
- G7 グレースケールキャリブレーションを完全自動化するためのオプションもあります。

## 使用可否：

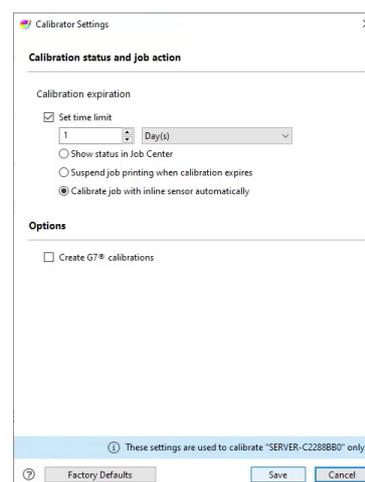
カット紙対応外部サーバー	手動測定器かインライン測定器が必要 Fiery サーバーの資料でサポート状況を確認 <a href="#">Fiery Color Profiler Suite</a> のライセンスが必要
カット紙対応組み込みサーバー	手動測定器かインライン測定器が必要 Fiery サーバーの資料でサポート状況を確認 <a href="#">Fiery Color Profiler Suite</a> のライセンスが必要
サーバー機能かクライアント機能か	サーバー

## ゼロタッチ再キャリブレーション

ゼロタッチ再キャリブレーションは、設定したスケジュールに基づいて再キャリブレーションを無人で自動実行できる、ワンステップカラー管理を補完する機能です。

インライン測定器を使用して、印刷環境に合わせて用紙の種類ごとに任意の間隔で再キャリブレーションのスケジュールを設定できます。インライン測定器の特長を活かしたこの機能では、ワンステップカラー管理で定義された状態にカラーを戻すためにオペレーターが介入する必要はありません。

つまり完全に「手動操作ゼロ」の用紙カラーキャリブレーションソリューションです。



## メリット：

- 完全自動のハンズフリー再キャリブレーションで、オペレーターがカラーの軌道修正のために介入する必要がありません。
- 正確かつ一貫した結果が自動的に保証され、オペレーターが再キャリブレーションを実行するためのルーチンを覚える必要はありません。
- 用紙の再キャリブレーションのために手動でプロダクションを停止する必要はありません。

## 使用可否：

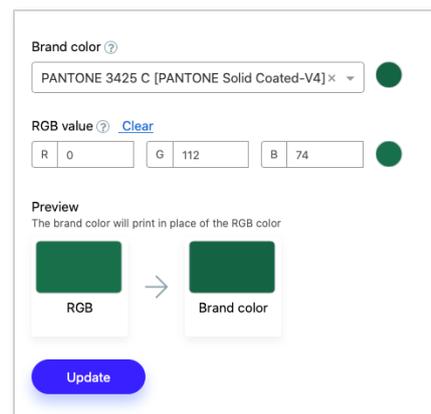
カット紙対応外部サーバー	Fiery サーバーの資料でサポート状況を確認
カット紙対応組み込みサーバー	Fiery サーバーの資料でサポート状況を確認
サーバー機能かクライアント機能か	サーバー

## Fiery TrueBrand がすべてのカット紙対応サーバーで利用可能

よくある印刷の課題の1つは、RGB カラーのみをサポートし、スポットカラーをサポートしていない Microsoft Office アプリケーションで作成した書類を正確なブランドカラーで印刷することです。

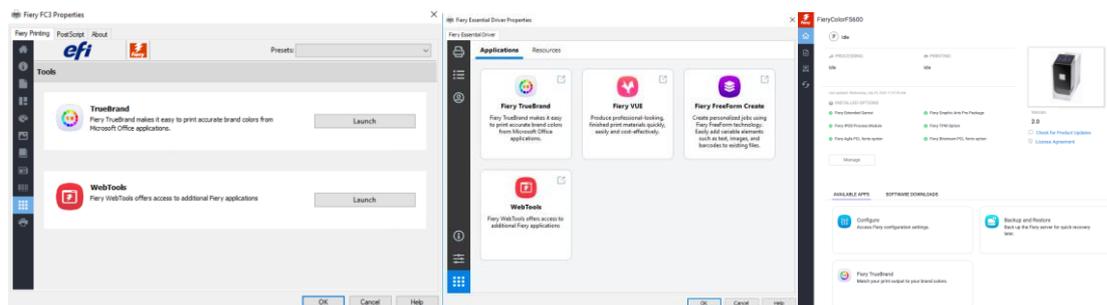
Fiery TrueBrand™が、すべてのカット紙対応 Fiery サーバーで利用できるようになりました。これで誰でも RGB 値を名前付きスポットカラーに簡単にマッピングできます。

Fiery TrueBrand アプリケーションでは、手順に沿って、まず対象の名前付きカラーを選択してから、それに対応する RGB 値を選択します。これらの値が Fiery サーバーで設定されると、RGB 専用アプリケーションで使用される RGB 値の組み合わせが対象の名前付きカラーに自動的にマッピングされ、以降の印刷で使用できるようになります。ユーザーは数回のクリックで、ブランドカラーを正確に再現してプレゼンテーション資料、パンフレット、その他の Microsoft Office ドキュメントを作成できます。



Fiery TrueBrand アプリケーションでブランドカラーをRGB 値にマッピング

Fiery TrueBrand アプリケーションには、複数の方法でアクセスできます。



Fiery Driver

Fiery WebTools



[動画を見る](#)

### メリット：

- ブランドカラーを正確に再現して簡単に書類を作成できます。
- カラーに関する専門知識は不要です。
- あらゆる印刷環境に適しています。

## 使用可否：

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	標準
サーバー機能かクライアント機能か	サーバー

## Fiery Edge スポットカラー処理

Fiery Edge スポットカラー処理は、すべての Fiery FS600 Pro サーバーに標準で搭載されている、新しいスポットカラーテクノロジーです。

- CMYK プリンターの色域付近または色域外のスポットカラーで dE 2000 を最大 20%改善できます。
- CMYK+プリンターでは、色域付近や色域外のスポットカラーの dE 値を最大 40%まで改善できます。

CMYK プリンターおよび CMYK+プリンターの色域内のスポットカラーは、視覚的な変化は小さいですが、dE が改善される場合もあります。

### 例 (dE 値の改善)：

PANTONE オレンジ 021

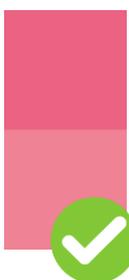


**13.35 dE**  
標準的な Fiery  
スポット

**8.36 dE**  
新しい Fiery Edge  
スポットカラー処理



PANTONE 812

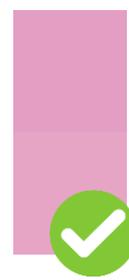


**13.79 dE**  
標準的な Fiery  
スポット

**10.31 dE**  
新しい Fiery Edge  
スポット



PANTONE 251



**3.53 dE**  
標準的な Fiery  
スポットカラー処理

**2.22 dE**  
新しい Fiery Edge  
スポット



## メリット：

- 特に色域外のカラーでスポットカラー精度が向上します。



## Fiery Spot Pro の改良

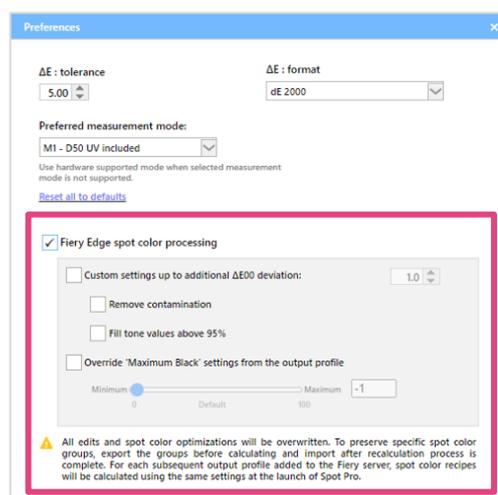
次の機能は、Fiery Spot Pro、カット紙対応外部サーバー向け [Fiery Graphic Arts Pro Package](#) の一部、カット紙対応組み込みサーバー向け [Fiery ColorRight Package](#) で使用できます。

- 設定可能な Fiery Edge スポットカラー処理
- スポットカラーグループの有効化/無効化
- スウォッチブックでのデルタ E 測定値の表示

### 設定可能な Fiery Edge スポットカラー処理

Fiery Spot Pro のユーザーは、Fiery Edge スポットカラー処理の設定可能なオプションを利用して、次のことができます。

- より鮮やかなカラーアピアランスを実現
- スポットカラーのレシピでのインク/トナー使用量を削減
- Fiery Edge スポットカラー処理テクノロジーを無効化



### より鮮やかなカラーアピアランス

Fiery Spot Pro では、提供されている Fiery Edge スポットカラー処理オプションを設定して、より鮮やかなカラーアピアランスを実現できます。そのためには、スポットカラーレシピから、淡いカラーで顕著に見られる非常に低い値を含むカラーを取り除く方法（汚染除去）と、スポットカラーのレシピで既に 95%以上となっている色を 100%使用すること（95%以上の色調値による塗りつぶし）で、暗いカラーや飽和カラーでの白飛びを避ける方法があります。

例（変更後の C、M、Y、K の値は太字で示しています）：

#### PANTONE イエロー C



標準的な Fiery スポットカラー処理レシピ：  
C 0.00、M 3.93、Y 100.00、K 0.00

新しい Fiery スポットカラー処理レシピ：  
C 0.00、**M 0.00**、Y 100.00、K 0.00

#### PANTONE ストロングレッド C



標準的な Fiery スポットカラー処理レシピ：  
C 0.01、M 100.00、Y 46.87、K 3.87

新しい Fiery スポットカラー処理レシピ：  
**C 0.00**、M 100.00、Y 46.87、**K 0.00**

## スポットカラーのレシピでのインク/トナー使用量の削減

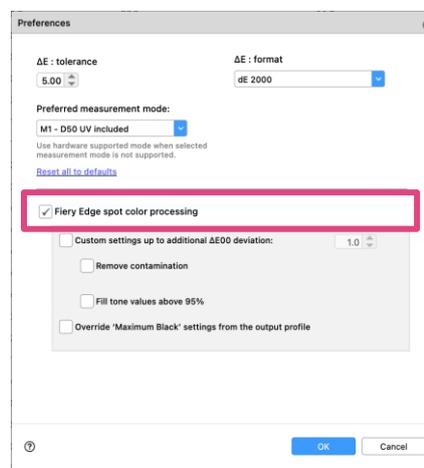
Fiery Edge スポットカラー処理を使用すると、使用するインク/トナーの数を減らせます。スポットカラーのレシピを3カラー+ブラックに限定することで、コストを削減できます。また、CMYK+プリンターでは、1つのエリアに6カラー以上を印刷する際に、プレスの置き方のばらつきを防ぐことによって、より安定したスポットカラーを生成し、メタメリズムの影響を防ぐこともできます。

Fiery Spot Pro では、オペレーターは、「出力プロファイルからブラックの最大設定値を上書きする」を選択して、グレースポットカラーのレシピでブラック以外のインク/トナー使用量をコントロールできます。これは、今もジョブのプロパティで使用できる「ブラックのみを使用してCMYK グレーを印刷する」オプションと似ています。ただし、この機能はスポットカラーにのみ適用され、出力プロファイルで定義されている以上のグレーの画素値の構成で制御を追加することが可能です。

## Fiery Edge スポットカラー処理を無効にするオプション

オペレーターによっては、Fiery Edge スポットカラー処理の代わりに、従来型の Fiery スポットカラー処理を使用する必要がある場合があります。その場合は、Fiery Spot Pro でボックスをオフにすると、Fiery Edge スポットカラー処理テクノロジーを無効にできます。

① ただし、これにより Fiery サーバーに存在していたスポットカラーの編集内容がすべて削除されるうえ、以降のすべてのジョブでもその状態は継続します。



Spot Pro の環境設定でこのボックスをオフにすると、Fiery Edge スポットカラー処理

Fiery Edge のスポットカラー処理を無効にする前に、.icc ファイル形式でスポットカラーグループをバックアップすることを強くお勧めします。

そうすれば、オペレーターはいつでも、Fiery Edge スポットカラー処理に戻すことができます。

## メリット：

- CMYK+スポットカラーレシピアで使用されるインクやトナーの数が減ることで、インクやトナーの節約につながる可能性があります。
- 鮮やかなカラーアピランスを実現できます。

## スポットカラーグループの有効化/無効化

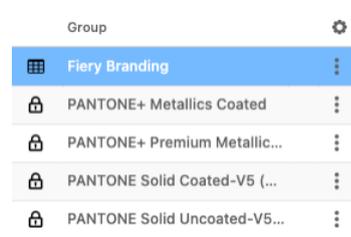
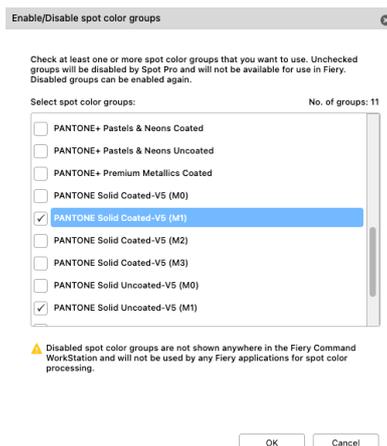
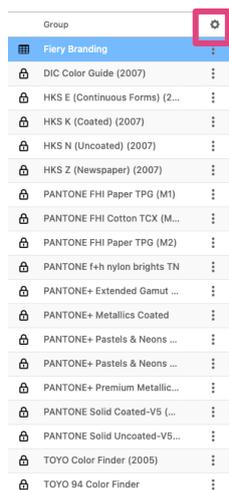
Fiery サーバーは、デフォルトでさまざまなスポットカラーグループがインストールされた状態で出荷されます。しかし、ユーザーによっては、使用しないデフォルトグループがある可能性もあります。そのようなユーザーが何かスポットカラーを検索すると、不要なカラーが検索結果として多数表示されることとなります。

Fiery Spot Pro では、ユーザー側でスポットカラーグループを有効（表示）または無効（非表示）にできます。有効にできるのは、定期的使用するグループのみです。そうしておくことで、何らかのスポットカラーを検索した際も、Fiery Spot Pro は有効なグループ内のみを検索するので、探していたカラーをすばやく見つかります。

無効にしたスポットカラーグループは、いつでも有効に戻せます。

無効なスポットカラーグループは、Fiery Spot Pro だけでなく、Fiery ImageViewer、Fiery TrueBrand、ジョブのプロパティなど、スポットカラーにアクセスする他のアプリケーションでも非表示になります。

スポットカラーグループを有効/無効にする機能は、デフォルトのスポットカラーグループ、インポートされたグループ、カスタムスポットカラーグループに適用されます。



これはスポットカラーグループパネルの例です。右上にある歯車のアイコンに注目してください。これをクリックす

設定ウィンドウで、非表示にするグループの選択を解除します。または、表示するグループを選択します。

これは表示するグループを選択した後のスポットカラーグループパネル



[動画を見る](#)

### メリット：

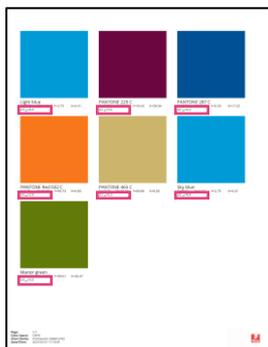
- 必要なスポットカラーグループのみを表示することで、スポットカラーの操作を効率化できます。
- 不要なスポットカラーグループを無効にすると、より効率的にスポットカラーを検索できます。

### 使用可否：

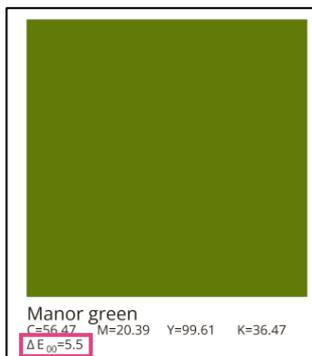
カット紙対応外部サーバー	オプション
カット紙対応組み込みサーバー	オプション
サーバー機能かクライアント機能か	サーバー

## スウォッチブックでのデルタ E 測定値の表示

Fiery Spot Pro では、印刷されたスウォッチブックにあるカラーのデルタ E (dE) 測定値を表示するかどうかをオペレーターが選択できます。この機能は、スウォッチブックの印刷前に、オペレーターがスウォッチカラーの測定をするように促します。



各カラーの dE 測定値が表示されたスウォッチブック



dE 測定値のクローズアップ

### メリット：

- 特定の用紙にブランドカラーがどの程度の精度で印刷されるのかをブランドオーナーに確認してもらうことができます。

### 使用可否：

カット紙対応外部サーバー	オプション
カット紙対応組み込みサーバー	オプション
サーバー機能かクライアント機能か	クライアント

## Fiery ImageViewer の改良

Fiery ImageViewer は、Fiery FS600 Pro サーバー向けに幅広い強力な新機能を搭載しています。これらの機能は、ユーザーがプリプレタスクをより効率的に行えるように設計されています。

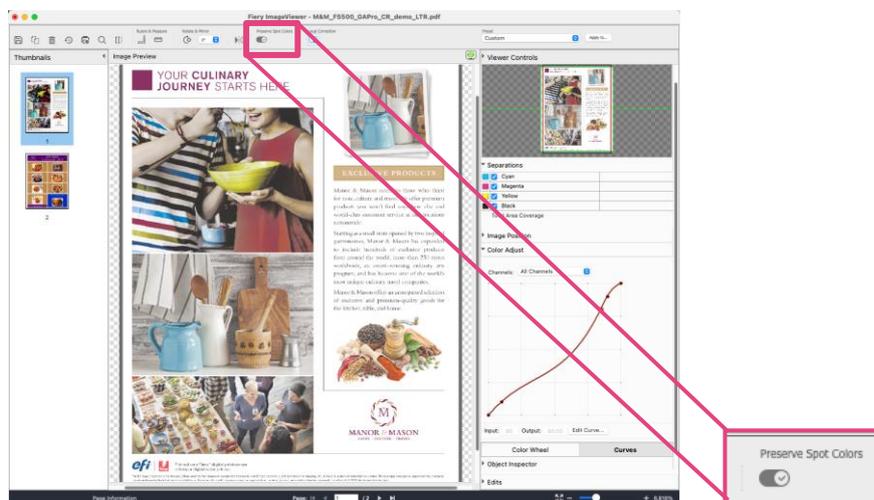
- ImageViewer 曲線編集時にスポットカラーを保持
- ページ上に出力可能領域を表示
- 正確なページ検査のためのルーラーガイドライン
- ユーザビリティの改善
- 視覚的画像シフト（詳細は [「管理」セクション](#)を参照）

Fiery ImageViewer は、カット紙対応外部サーバー向け [Fiery Graphic Arts Pro Package](#) と、カット紙対応埋め込みサーバー向け [Fiery ColorRight Package](#) に含まれています。

## ImageViewer 曲線でスポットカラーを保持

Fiery ImageViewer では、ドキュメント内のカラー曲線をページ全体または選択したページ領域にわたって調整できます。ページまたは特定領域のカラー曲線を調整する際に、その変更が領域内のスポットカラーに影響しないようにする必要がある場合に備えて、ImageViewer で必要に応じてカラー曲線を調整しつつ、スポットカラーを保持できるようになりました。

たとえば、ページにイメージと会社ロゴが含まれている場合に、会社ロゴのブランドカラーを保持しつつ、イメージのカラー曲線を調整できます。



Fiery ImageViewer で「スポットカラーを保持」をオンに切り替えていると、曲線を編集してもスポットカラーの値に影響は及びません。



### メリット：

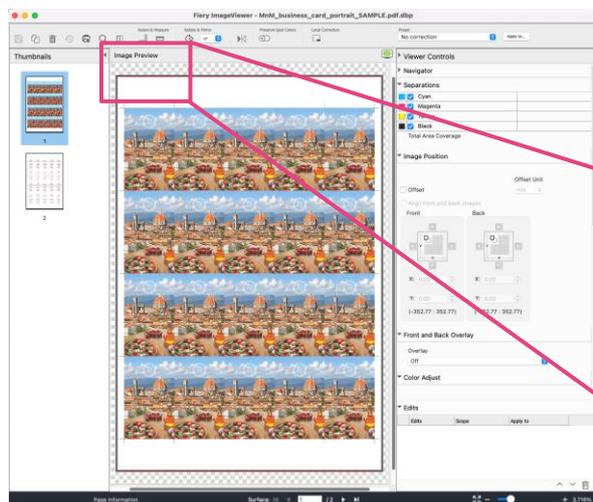
- ブランドカラーの完全性を維持しつつ必要に応じてカラー曲線を柔軟に編集できます。

### 使用可否：

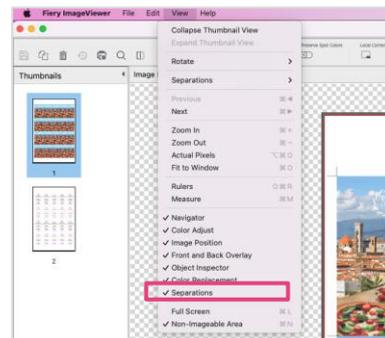
カット紙対応外部サーバー	オプション
カット紙対応組み込みサーバー	オプション
サーバー機能がクライアント機能か	サーバー

## 画像領域の表示

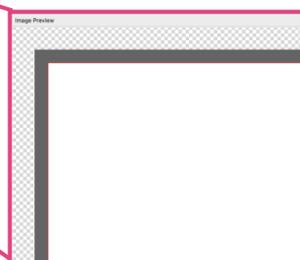
ユーザーがシート上の画像領域を確認できるようになりました。これにより、すべての内容が領域内に印刷され、仕上げ処理で内容に影響がないことを確認できます。印刷前にこのプレビューを見ることで、無駄な印刷を減らし、修正を最小限に抑えることができます。



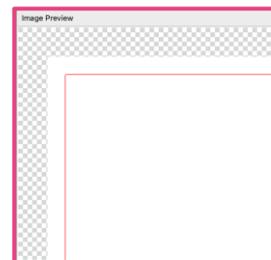
「非印刷領域を表示」をオンにしたイメージプレビュー



ImageViewerの「非印刷領域を表示」オプション



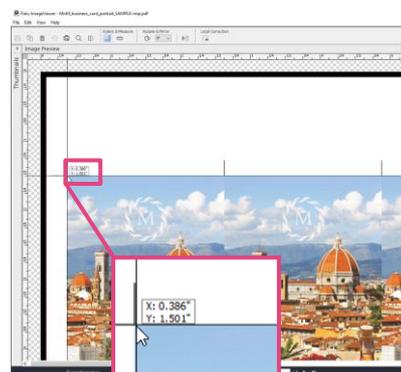
ハイライト領域のクローズアップ表示。黒の境界線で囲まれているのは非印刷領域です。赤い線はページ境界線を示しています。



同じ領域で「非印刷領域を表示」をオフにした場合の表示。ページ境界線を示す赤い線が見えやすくなります。

## ルーラーのガイドライン

ルーラーツールに、ページオブジェクトがページ上の意図した位置に並ぶようにガイドラインを使用できる機能が追加されました。ユーザーは、ウィンドウの隅から好きな場所に水平および垂直ガイドをドラッグできます。ガイドには、ページの端から特定の点までの距離が表示されます。

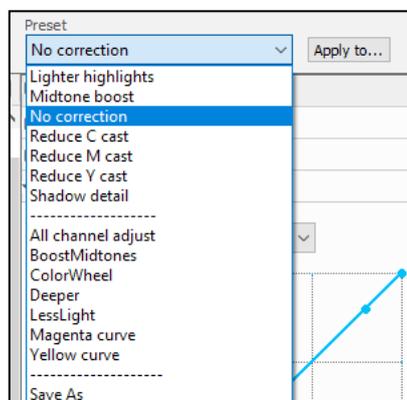


新しいルーラーガイドラインにより、ページのオブジェクトを適切な位置に配置できます。

## ユーザビリティの改善

- Fiery ImageViewerの曲線プリセットは、デフォルトとユーザー作成の両方が、ドロップダウンメニューでアルファベット順に並ぶようになりました。これにより、ユーザーは必要なプリセットをこれまでより早く見つけられます。

- 「すべてのチャンネル」がデフォルト表示になりました。すべてのチャンネル（グローバルカーブ調整）を使用することで、ユーザーはすべてのチャンネルのカーブを同時に調整することができます。これにより、ミッドトーンカーブ、シャドウカーブ、ハイライトカーブなど、すべてのセパレーションにまたがるカーブ調整をより迅速に行うことができます。



プリセットはアルファベット順に表示



「すべてのチャンネル」が  
デフォルト表示

#### メリット：

- 印刷されないページ領域があらかじめわかり、用紙の無駄ややり直しを削減できます。
- ページのオブジェクトを適切な位置に配置できます。
- プリセットにすばやくアクセスできます。
- より迅速に曲線を調整できます。

#### 使用可否：

カット紙対応外部サーバー	オプション
カット紙対応組み込みサーバー	オプション
サーバー機能がクライアント機能が	クライアント

## PrintWide 2020 ソースプロファイルのサポート

この IdeAlliance リファレンスプロファイルがサポートされたことで、彩度の高い出力結果が求められるシナリオの場合に便利な、以下のような使い方が可能になります。

- PrintWide 2020 プロファイルを、ユーザーが色の忠実度を損なわずに高彩度のオリジナル画像（通常は RGB）を変換できる中間の CMYK 「変換空間」として機能させることができます。
- CMYK ファイルに割り当てられている場合に、PrintWide 2020 プロファイルを CMYK ファイル用の「彩度ブースター」として機能させることができます。

### メリット：

- 肌の色調やニュートラルなどの重要なカラーエリアに何らかのネガティブな影響を及ぼすことなく、必要に応じて RGB ファイルと CMYK ファイルの両方で色域の出力結果を最大化できます。

### 使用可否：

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	標準
サーバー機能がクライアント機能が	サーバー

## カットバックトラッピング

エンジンの位置ずれにより、ホワイトの背景で合成オブジェクトから個々のインク/トナーがはみ出る場合に、カットバックトラッピングを使用すれば、オブジェクトの端からカットバックする特定の分解（通常は暗色の分解）を手動で定義できます。

これは、CMYK+印刷でも便利です。



ジョブのプロパティでのカットバックトラッピング設定



正常な出力の例（調整に成功）      位置ずれのある出力の例      カットバックトラッピングによって、最も濃いものを除くすべてのインク/トナーが引き出

### メリット：

- 位置ずれの問題を補正して高品質の出力を得るのに役立ちます。

**使用可否：**

カット紙対応外部サーバー	Fiery サーバーの資料でサポート状況を確認
カット紙対応組み込みサーバー	Fiery サーバーの資料でサポート状況を確認
サーバー機能かクライアント機能か	サーバー

## インライン測定器のサポート強化

### ダイナミックパッチレイアウトのサポート

Fiery FS600 Pro サーバーには、RGB スキャナーテクノロジーが全体的または部分的に利用される一部の測定器と組み合わせて使用するカスタムチャートとウェッジのサポートが組み込まれています。組み込みのサポートなので、オペレーターが将来のカスタムチャートやウェッジの印刷や測定のためにサーバーパッチを適用する必要はありません。

**メリット：**

- 新しいチャートやウェッジレイアウトを使用する必要がある場合の簡易ソリューションになります。

### 測定精度の向上

新しいアルゴリズムによってチャートやウェッジ内のカラーパッチの配置が最適化され、隣接するパッチが読み取り精度に及ぼす可能性のあるネガティブな影響が抑制されます。この機能は、全体的または部分的に RGB スキャナーテクノロジーをベースにしているインライン測定器向けに提供されます。

**メリット：**

- インライン測定器の測定データの精度が向上します。

**使用可否：**

カット紙対応外部サーバー	Fiery サーバーの資料でサポート状況を確認
カット紙対応組み込みサーバー	Fiery サーバーの資料でサポート状況を確認
サーバー機能かクライアント機能か	サーバー

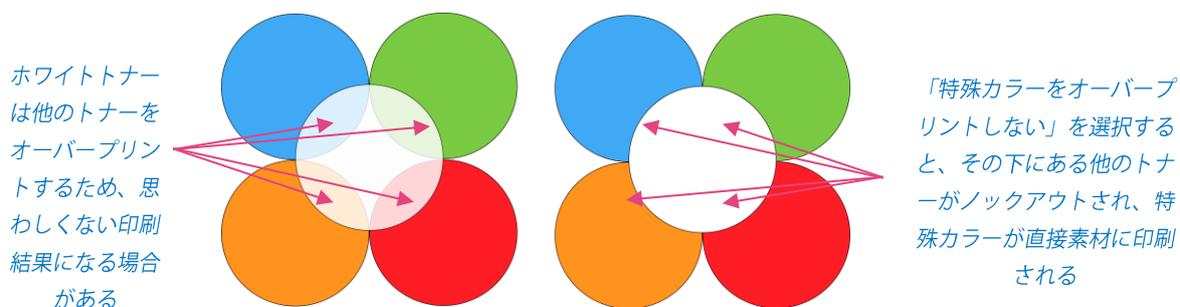
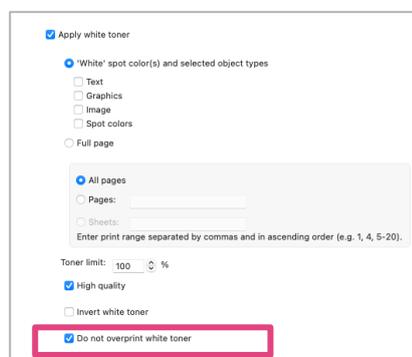
## 特殊カラー関連の機能強化

このセクションで紹介する機能は、特殊カラーまたは CMYK+をサポートする特定のプリントエンジンで利用できる場合があります。

### 特殊カラーのオーバープリント制御

特殊カラーをサポートしている Fiery サーバーでは、ファイルのオーバープリント指示を上書きし、特殊カラーのオブジェクトで背景をロックアウトできます。これにより、特殊トナーを素材に直接印刷できます。

この機能を使用すると、特殊カラーの下に他のカラーが透けて見えることがなくなります。



### メリット：

- 特殊カラーのオーバープリント方法をユーザー側で細かく制御できます。

### 使用可否：

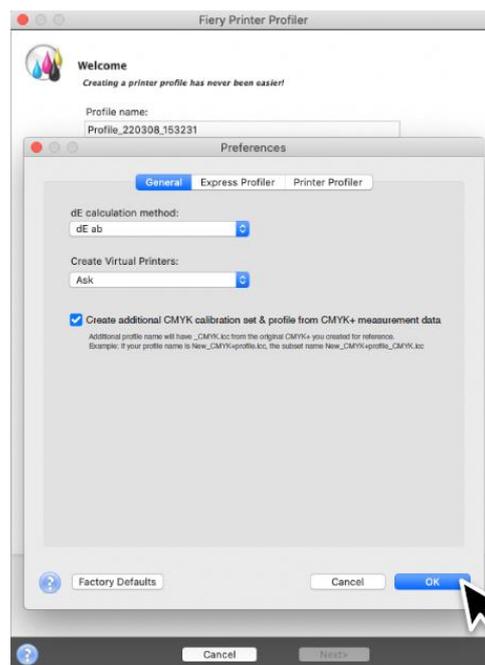
カット紙対応外部サーバー	Fiery サーバーの資料でサポート状況を確認
カット紙対応組み込みサーバー	Fiery サーバーの資料でサポート状況を確認
サーバー機能かクライアント機能か	サーバー

## サブセットのプロファイリング

サブセットのプロファイリングでは、オペレーターが CMYK+X プロファイルを作成しキャリブレーションする際に、自動的に CMYK プロファイルが作成され、キャリブレートされます。つまり、1セットのチャートを印刷して測定するだけで、2つの高品質な結果（CMYK 印刷用と CMYK+拡張色域カラー印刷用）を作成できます。

### メリット：

- CMYK のみと CMYK+が加わる両方のモードでプリンターを実行する際のプロファイリングの労力が大幅に軽減されます。



### 使用可否：

カット紙対応外部サーバー	Fiery サーバーの資料でサポート状況を確認 <a href="#">Fiery Color Profiler Suite</a> が必要
カット紙対応組み込みサーバー	Fiery サーバーの資料でサポート状況を確認 <a href="#">Fiery Color Profiler Suite</a> が必要
サーバー機能がクライアント機能が	クライアント（Fiery Color Profiler Suite 5.5 以降）

## 生産性

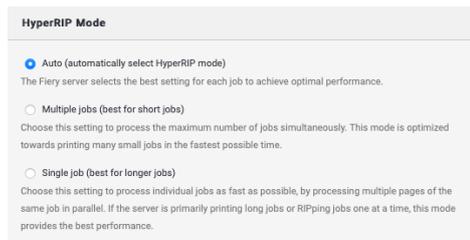
### インテリジェント HyperRIP

独自の Fiery HyperRIP™テクノロジーにより、複数のプロセッサコアの間で複数のジョブセグメントや複数のジョブが同時に処理され、市場をリードする Fiery サーバーの速度がさらに向上します。

これまでは、HyperRIP モードはシステム設定としてしか選択できず、単一ジョブモードがデフォルトでした。ユーザーが HyperRIP モードを選択すると、Configure で設定をアップデートしてからサーバーをリブートするかたちで手動での変更を行わない限り、すべてのジョブにそれが適用されていました。

インテリジェント HyperRIP では、単一ジョブモードとマルチジョブモードの間で Fiery サーバーが自動的に切り替わります。それぞれのジョブに合った最適な HyperRIP モードがインテリジェントに選択されるので、多様なジョブが生み出される印刷環境でのスループットと全体的な生産性が向上します。

★ 一部のケースでは、Fiery FS600 Pro NX Premium サーバーでインテリジェント HyperRIP を使用することで、従来の HyperRIP を Fiery FS500 Pro NX Premium サーバーで使った場合よりも、長短混在ジョブの処理を **最大 2 倍高速化** できます。



Fiery Configure の HyperRIP モードオプション

処理の高速化に加えて、インテリジェント HyperRIP では、HyperRIP モードを変更するためにオペレーターがプロダクションを停止して Fiery サーバーをリブートする必要がないので、全体的な生産効率が向上します。

サーバーのデフォルト設定は、インテリジェント HyperRIP（自動モード）です。ただし、マルチジョブモードか単一ジョブモードをデフォルトとして選択するオプションは残っています。これは、大半のジョブの長さが同じ（書籍カバーなどの短いジョブやブックブロックなどの長いジョブ）場合に便利です。インテリジェント HyperRIP は、Adobe PDF Print Engine パスと PostScript (CPSI) 処理パスをどちらも使用する場合に使用できます。割り込み RIP などの

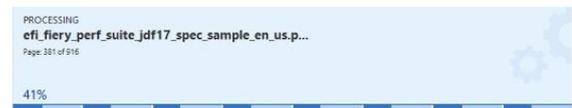


既存の機能は、インテリジェント HyperRIP の単一ジョブモードで処理されたジョブでも機能します。

ジョブとワークフローのタイプによっては、特定の HyperRIP モードがサポートされません。詳細については、該当するセクションを参照してください。

### 単一ジョブモード

複数のプロセッサ間で1つのジョブが同時に RIP 処理されます。20 ページ以上になる長めのジョブで効果を発揮します。





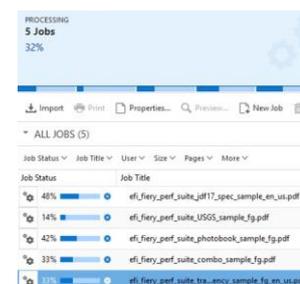
## 単一ジョブモードで HyperRIP によってサポートされるファイル形式

次の表は、各ファイル形式がサポート対象であるかどうか、および一部のワークフローと印刷設定における制限についてまとめたものです。Fiery サーバーによってファイルが HyperRIP で処理できないと判断されると、そのファイルは単一 RIP パスを通じて自動的にルーティングされます。

ファイルの種類	普通紙	両面	XObjects フォーム のキャッ シュ	用紙種 類 の混合	コント ロール バー	範囲/ ページ/ レコー ド	面付け	Postflight	直接キ ュー
<b>PostScript (CPSI) ワークフロー</b>									
PDF	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
PostScript (PS)	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
PDF/VT	はい	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ	いいえ	はい
PPML	はい	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ	いいえ	はい
VPS	はい	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ	いいえ	はい
VIPP (Xerox サーバーの み)	はい	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ	いいえ	はい
Fiery FreeForm™マスター	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
FreeForm バリアブル	はい	はい	はい	はい	はい	はい	-	-	はい
FreeForm Create (.ffc)	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
FreeForm Plus (.ffp)	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
TIFF	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
EPS	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
<b>Adobe PDF Print Engine ワークフロー</b>									
PDF	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ	はい
PDF/VT	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ	はい
FreeForm Plus	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ	はい
PDF グループ	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ	はい
<b>PCL ワークフロー</b>									
PCL	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ

## マルチジョブモード

複数のプロセッサ間で複数のジョブが同時に RIP 処理されます。書籍カバー、パンフレット、チラシなどの短いジョブに最適です。マルチジョブモードは一部のファイル形式をサポートしておらず、単一 RIP パスを使用して処理されます。サポートされないファイル形式は、PPML、PDF/VT、VIPP、PCL、FreeForm です。



[動画を見る](#)

### メリット：

- それぞれのジョブに合った最も効率的な HyperRIP モードがインテリジェントに選択されます。
- 長短混在するジョブを実行する際のパフォーマンスと効率性が向上します。
- HyperRIP モードを変更するために Fiery サーバーを停止してリブートする必要がないので、プロダクションがスムーズに進みます。

### 使用可否：

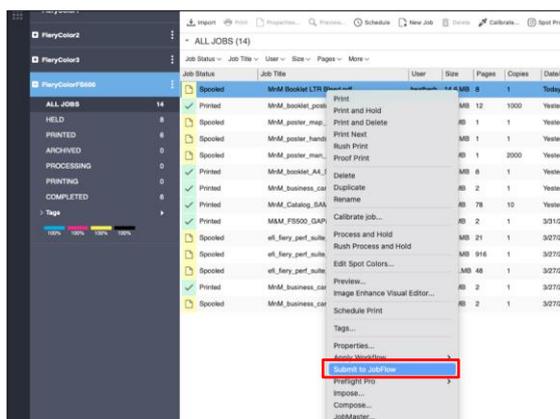
カット紙対応外部サーバー	NX Premium と NX Pro サーバーに標準搭載
カット紙対応組み込みサーバー	使用不可
サーバー機能がクライアント機能か	サーバー

## Fiery Command WorkStation 経由の Fiery JobFlow へのジョブ送信

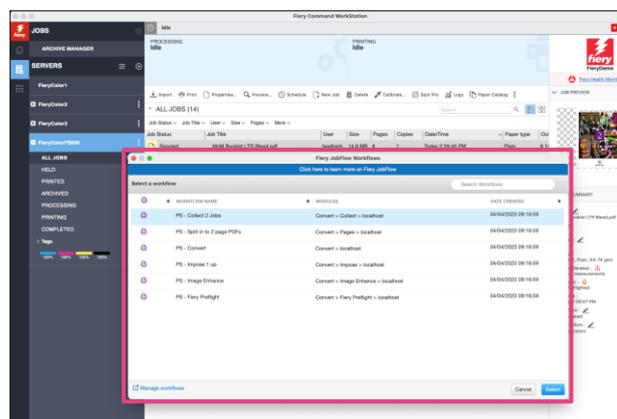
自動化されたプリプレスワークフローへのジョブの送信が、かつてないほど楽になります。Fiery Command WorkStation、Fiery 仮想プリンター、印刷ドライバーなど、さまざまな送信方法を使用して Fiery JobFlow™へシームレスにジョブを送信できるようになりました。これにより、ジョブ送信プロセスの柔軟性が向上し、人為的ミスの可能性が減り、自動化がより身近で使いやすいものになります。

Command WorkStation が仮想プリンターから直接ジョブを送信することで、ユーザーはワークフローを効率化し、プリプレスプロセスでの不要な手作業を回避できます。これにより生産性は向上し、時間を節約できます。さらに、Fiery 印刷ドライバーには、複数のアプリケーションを経由せずにデスクトップから JobFlow にジョブを送信するための便利なオプションがあります。

Command WorkStation を経由でジョブを送信するには、待機キュー内のジョブを右クリックして「JobFlow に送信」を選択するだけです。すると新しいウィンドウが開き、そのジョブで使用する JobFlow 自動ワークフローを選択できます。

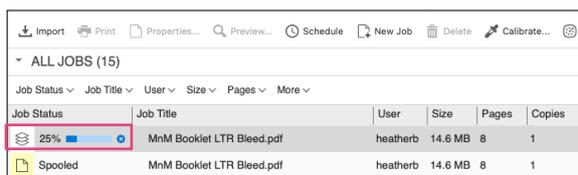


ジョブを右クリックして「JobFlow に送信」を選択

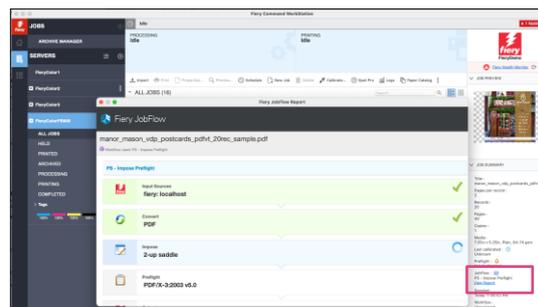


開いた JobFlow ワークフローウィンドウで適用するワークフローを選択

ジョブの送信後は、待機キューの「ジョブ状況」列を確認したり、Command WorkStation の「ジョブ概要」ペインから JobFlow レポートを開いたりして、JobFlow ワークフローの進行状況を追跡できます。



Command WorkStation の「ジョブ状況」で JobFlow ワークフローの進行状況を確認



または JobFlow レポートを開いてワークフローを通じてファイルの進行状況の詳細を確認

## 使用例：

JPEG を含む任意のファイル形式\* を Fiery Command WorkStation に送信します。ファイルは Fiery JobFlow によって PDF に変換されてから Fiery サーバーに送信されます。これを有効にするには、JobFlow の変換ワークフローを使用して仮想プリンターを作成します。

\* サポートされているファイル形式の完全なリストは、[こちらを参照してください。](#)

## メリット：

- 自動化が使いやすく、身近なものになります。
- さまざまなチャンネルを使ってジョブをシームレスに自動ワークフローへ送信できます。

## 使用可否：

カット紙対応外部サーバー	Fiery JobFlow Base に標準搭載 Fiery JobFlow の機能が必要なワークフローではオプション
カット紙対応組み込みサーバー	使用不可
サーバー機能がクライアント機能が	サーバー

## Fiery JobExpert の改善

FS600 Pro Fiery では、Fiery JobExpert の 2 つの機能が新たに強化されています。

Fiery 仮想プリンター経由で送信されるジョブでの PostScript のサポートと、VDP 機能を活用するためのレコード長の確認です。

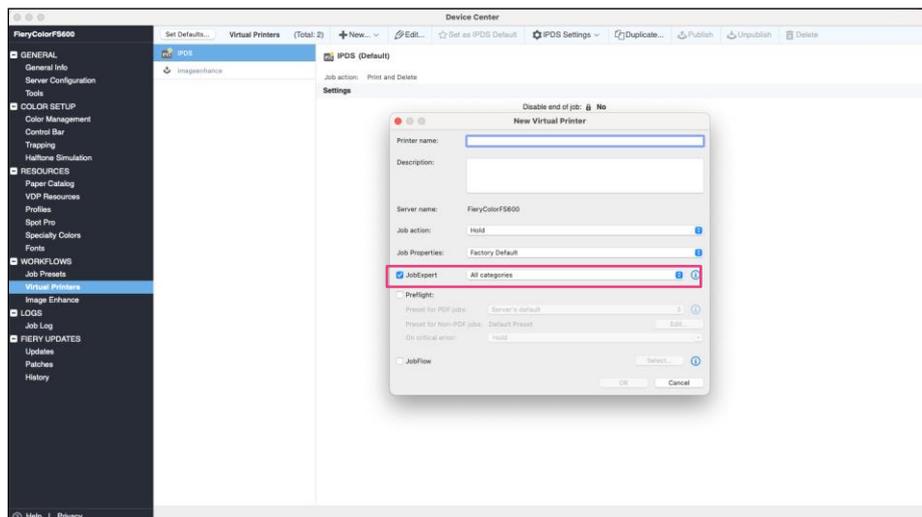
### PostScript のサポート

Fiery JobExpert が PDF ファイルに加えて、PostScript 互換になりました。仮想プリンター経由で送信されたジョブに対して JobExpert のインテリジェントな自動化を活用できます。



これを利用することで、JobExpert オペレーターは、ユーザーがどのような方法でジョブを送信するかにかかわらず、最適な印刷設定を適用して最小限の労力で最高の品質を実現できます。

印刷ドライバーからの JobExpert を使用するには、ユーザーが仮想プリンター設定で JobExpert をオンにする必要があります。設定が完了すると、仮想プリンターは自身を経由して送信されるすべてのファイルに対して自動的に JobExpert を適用するようになります。



仮想プリンターの設定時に Fiery JobExpert を有効にする

## メリット：

- 印刷ドライバーが仮想プリンターを経由して送信されるジョブに最適な Fiery 設定が自動的に適用され、画質が向上します。

## レコードの長さの確認

Fiery JobExpert でシンプルな PDF ファイルが分析され、バリエブルデータ中のページの繰り返しが特定されるようになりました。

Fiery JobExpert が内容の反復を検出すると、ファイルの残りの部分の分析が停止されるので、分析時間が短縮されます。その後 JobExpert によって PDF が PDF/VT\* ファイルに変換され、反復レコードを識別できるようになります。これにより、レコード数を指定して印刷したり、ジョブの面付け時に特定の VDP 機能を使用したりするなど、バリエブルデータ機能を活用できます。

\* PDF/VT 変換はあくまでも VDP 機能を有効にするために実行され、VDP ファイルとして RIP 処理されることはありません。

Job Status	Job Title	User	Size	Pages	Copies	Date/Time	Paper type	Output paper size	Records	PDF	Workflow
Spooled	Impact_Marketing_BM...ry_NonImposed.pdf	hans	5.9 MB	1000	1	Today 11:29:37 AM	Plain	5 1/2x8 1/2S	500	pdf/vt	
Spooled	Impact_Marketing_BM...ry_NonImposed.pdf	hans	5.9 MB	1000	1	Today 11:29:04 AM	Plain	5 1/2x8 1/2S	500	PDF	
Spooled	MnM_poster_man_SAMPLE_11x17.pdf	Admin	5.4 MB	1	2000	Today 11:28:42 AM	Plain	8 1/2x11		PDF	

JobExpert を適用した統合 PDF はレコード数とあわせて PDF/VT ファイルとして表示されます。

## メリット：

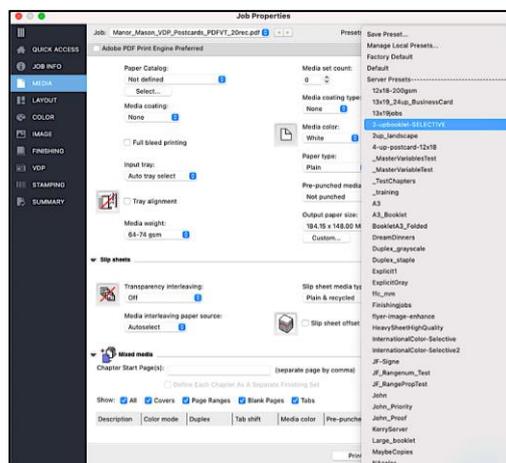
- 反復される内容を含む基本的な PDF ファイルが PDF/VT ファイルとして認識され、ジョブの準備中にバリエーション機能を使用できるようになります。

## 使用可否：

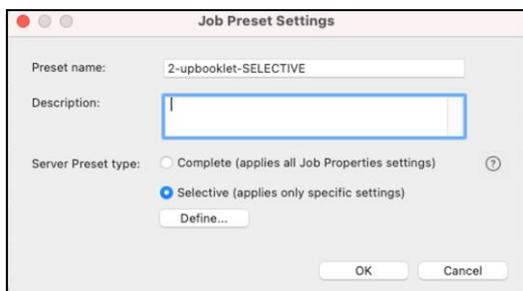
カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	オプション - Fiery JobExpert と PDF Processing Kit が必要
サーバー機能がクライアント機能が	サーバー

## オプションのあるプリセット設定

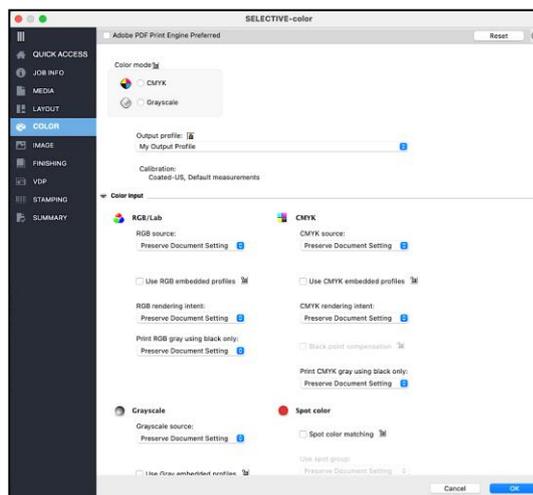
Fiery のジョブプリセットは、これまで以上に柔軟に使えるようになりました。新タイプのサーバープリセットであるカスタムプリセット設定は、特定のジョブ設定のみを含むことから、適用時に既存設定が変更されることがありません。つまり、ユーザーは限られた「よく使う」ジョブの設定を既存設定に追加する形で適用できるので、柔軟性が高まり、求められる印刷結果を得るために必要なプリセットの全体数を減らすことができます。



既存の設定を保持する必要があるジョブに追加可能なプリセットのオプション



2つのサーバプリセットタイプが選択可能なデバイスセンターのプリセット作成ダイアログボックス



ユーザーがプリセットのオプションの一部として特定のカラー設定を定義している様子

オプションのあるプリセットは、デバイスセンターでジョブプリセットを選択するかたちで作成します。プリセットのオプションの柔軟さは、面付けの設定や色の設定のみを変更する必要がある場合などに役立ちます。ユーザーは、同じジョブに対して複数のプリセットのオプションを適用することもできるので、より柔軟な対応が可能です。

[動画を見る](#)

**メリット：**

- 柔軟性の高いプリセットを累積的に使用できます。
- 全体的に必要なプリセット数が減ります。

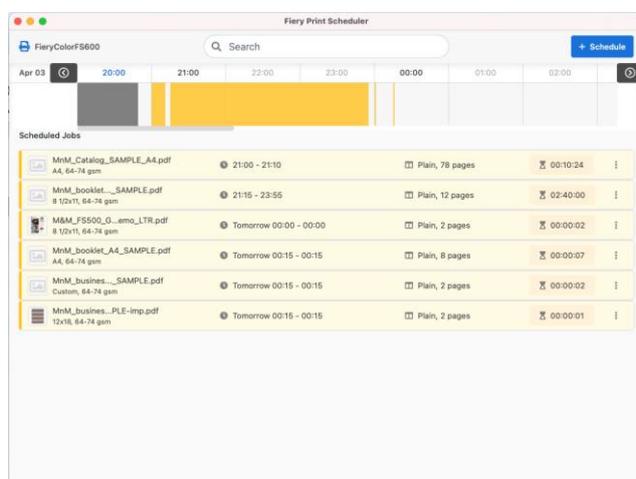
**使用可否：**

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	標準
サーバー機能かクライアント機能か	クライアント

## 管理

### Fiery プリントスケジューラー

この新しいツールを使用すると、視覚的インターフェイスを使用して簡単にジョブ印刷のスケジュールを設定できます。オペレーターは、日々のプロダクション需要、装置の可用性、顧客納期に合わせて、24時間の枠内にジョブのスケジュールを設定して組み込みます。Fiery プリントスケジューラーは、オペレーターがプリンターの日々の使用状況を明確に把握し、最大限のキャパシティで運用するのに役立ちます。



Fiery プリントスケジューラーのウィンドウ

複数のユーザーがツールバーからツールにアクセスしたり、ジョブを右クリックしてアクセスしたりできます。Fiery プリントスケジューラーでは、推定印刷時間機能を活用して、最も適切な印刷期間にジョブをプロットしたり、次の使用可能なスケジュールにジョブを差し込んだりできます。わずか数回のクリックで、スケジュールに1つまたは複数のジョブを追加できます。

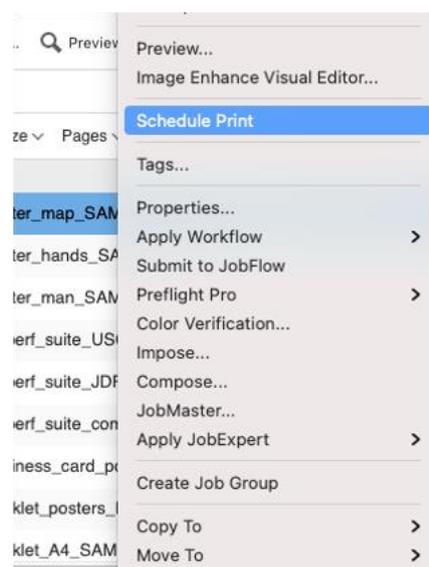


Command WorkStation ツールバーから Fiery プリントスケジューラーにアクセス

このツールも動的です。たとえば、すでにスケジュールされているジョブに必要な部数が増えたり減ったりすると、スケジュールが自動的に調整され、新しい開始時刻と終了時刻が正確に反映されます。



[動画を見る](#)



ジョブを右クリックしてスケジュールを設定

## メリット：

- 顧客ジョブのプロダクションが確実に適切なタイミングで実行されます。
- プリンターのプロダクション能力を最大限に引き出せます。
- ジョブの納期についての顧客とのやり取りの精度が向上します。
- 事情の変化に伴うジョブのスケジュール変更が簡易化されます。
- すべてのオペレーターにとっての印刷ワークロードの透明性が向上します。

## 使用可否：

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	標準
サーバー機能かクライアント機能か	サーバー

## ジョブグループ

これは複数のジョブを1つのグループに結合し、Fiery Command WorkStation で単一のジョブとして扱えるようにする機能です。ジョブグループが効果を発揮するシナリオは、主に2つあります。

1. **Print Group** - 一連のジョブをきちんと順序に従って印刷する場合です。
2. **PDF Group** - 複数のジョブを結合して Fiery Impose、Fiery Compose、Fiery JobMaster™で使用する場合があります。

	Spoiled	MnM_poster_man_SAMPLE_11x17.pdf	Admin	5.4 MB	1	Submit to Queue Apply JobExpert > <b>Create Job Group</b> Copy To >
	Spoiled	MnM_poster_hands_SAMPLE_11x17.pdf	Admin	4.0 MB	1	
	Spoiled	MnM_poster_map_SAMPLE_11x17.pdf	Admin	5.5 MB	1	

右クリックして選択した複数のジョブのグループを作成

どちらのタイプのグループも、グループ全体にジョブのプロパティを適用できるだけでなく、グループ作成後もグループに含まれるジョブを追加、削除、並べ替えできます。ただし、両者には違いもあります。

## 印刷グループ

このタイプを使用すると、ジョブはグループ内での表示順に印刷されます。プロパティは、グループ内の個々のジョブに対しても、グループ全体に対しても適用できます。



このタイプのグループは、複数のジョブを特定の順番で印刷する必要がある場合に便利です。たとえば、それぞれのジョブが章で構成される場合に、マニュアルの各章を手動で丁合しなくても済みます。

## PDF グループ

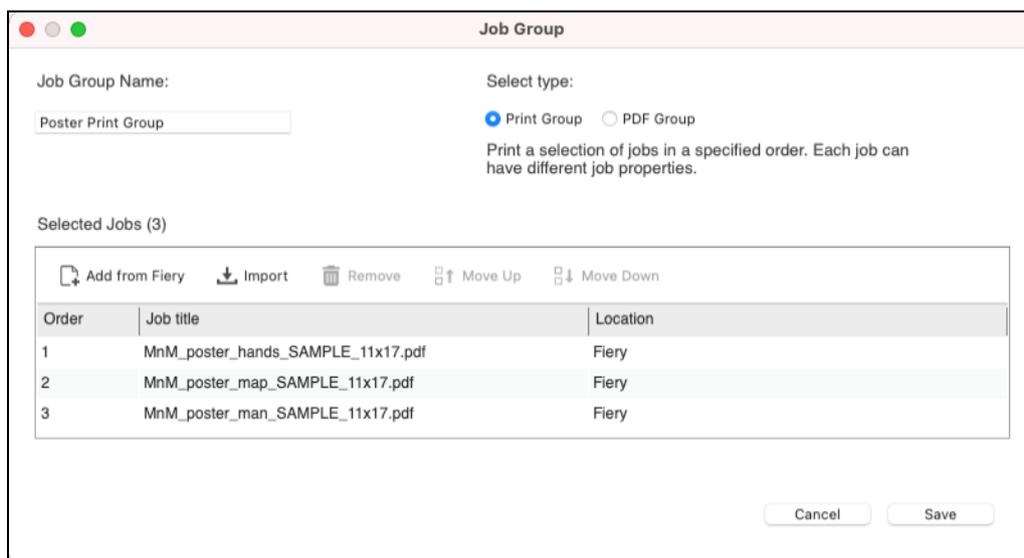
このタイプのグループは、グループ内に表示される順番でジョブを結合します。プロパティは、グループ全体に対して適用できます。

たとえば、Fiery Impose を使用して異なる名刺を 1 つのシートに面付けする必要がある場合や、製本機用に章を組み合わせる必要があり、混合仕上げに Fiery JobMaster が必要になる場合は、このタイプでグループ化するのが便利です。

- ① 注意：PDF グループをメイクレディ目的で使用するには、Fiery Impose、Compose、または JobMaster のサブスクリプションベースのライセンスが必要です。

### 概要：PDF グループと印刷グループ

	PDF グループ	印刷グループ
主な用途	Fiery メイクレディアアプリケーションでの複数ジョブの使用	複数ジョブの整理
サポートされるファイルの種類	PDF のみ	サポートされているすべての種類の Fiery ファイル
印刷設定	グループレベル	グループレベルまたはジョブレベル
メイクレディアアプリケーションのサポート	グループレベル	ジョブレベル



ジョブを追加、インポート、順番に移動、Fiery サーバーから削除できる「ジョブグループ」ウィンドウ

### メリット：

- ジョブのプロパティをグループ化したジョブへ同時に適用できるので、設定の生産性と一貫性が向上します。
- 印刷キューの制御性が向上することに加え、ジョブのインポートや管理を効果的に行える方法が増えます。
- グループの作成後もグループに含まれるジョブを柔軟に編集できます。
- 似たような内容の新しいグループの作成がスピードアップします。

### 使用可否：

カット紙対応外部サーバー	標準 Fiery Impose、Compose、JobMaster で PDF グループを使用する場合は、サブスクリプションベースのライセンスタイプが必要
カット紙対応組み込みサーバー	標準 Fiery Impose、Compose、JobMaster で PDF グループを使用する場合は、サブスクリプションベースのライセンスタイプが必要
サーバー機能がクライアント機能が	サーバー

## メディアカタログ

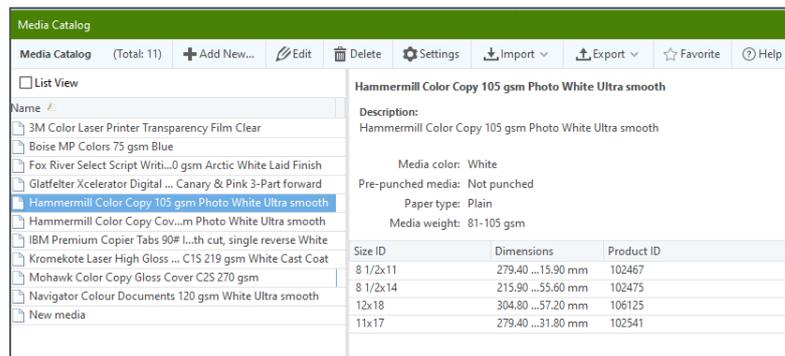
メディアカタログは、大半の Fiery FS600 Pro サーバーのメディア/用紙管理インターフェイスで、Fiery Paper Catalog に置き換わるものです。

メディアカタログにより、サイズが異なる複数の種類の用紙を管理するプロセスが大幅に簡素化され

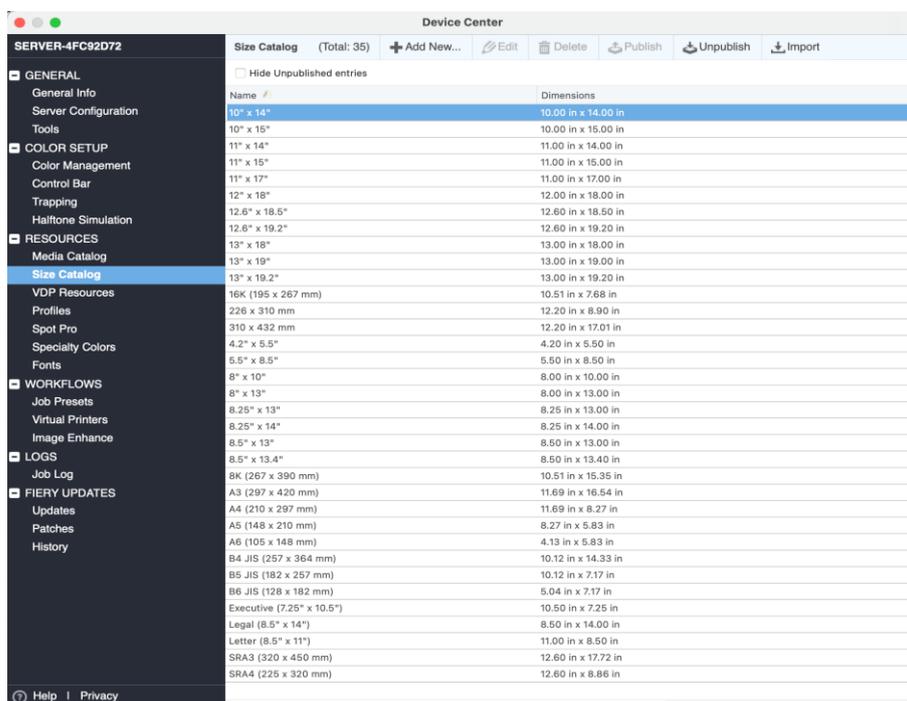
ます。複数のサイズが含まれる（サイズ以外の属性はすべて同じ）用紙の種類を単一のカタログエントリにできます。キャリブレーションとカラープロファイルにカタログエントリが割り当てられ、それらがその用紙のすべてのサイズへ自動的に適用されます。

## サイズカタログ

サイズカタログは、プリンターで使用されるすべての用紙を集めたライブラリを作成する、メディアカタログのコンポーネントです。サイズカタログを使用すると、ユーザーがドロップダウンメニューから適切な用紙サイズを選択するだけで、簡単に追加の用紙サイズをメディアカタログのエントリにすばやく関連付けることができます。



関連付けられた複数のサイズが選択されているメディアカタログエントリ

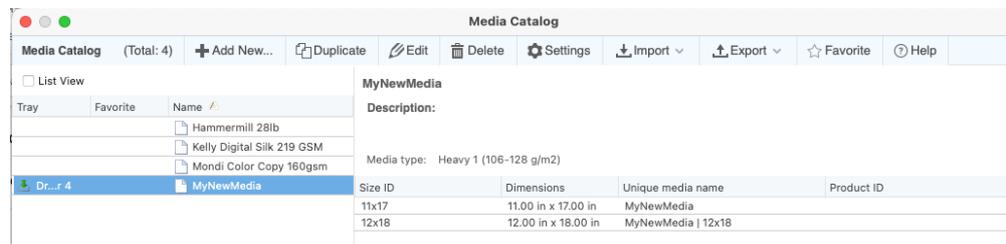


デバイスセンターのサイズカタログ

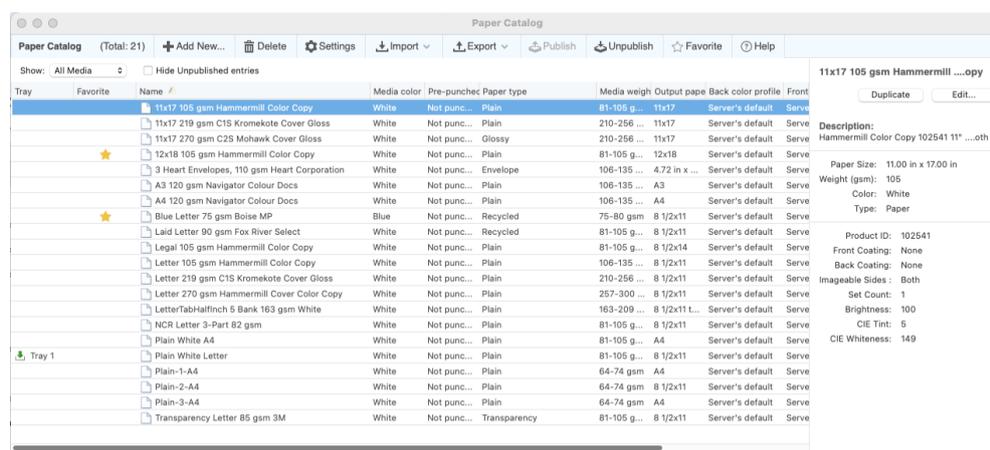


## 比較：メディアカタログと Paper Catalog

### メディアカタログ



### Paper Catalog



機能	Paper Catalog	メディアカタログ
全サイズ共通の単一の用紙名	いいえ	はい
お気に入り	はい	はい
双方向通信（対応エンジンの場合）	はい	はい
サイズカタログ	いいえ	はい
用紙エントリの非公開	いいえ	はい
非公開用紙エントリの非表示	いいえ	はい
すべての用紙でカスタムサイズを作成	いいえ	はい
特定の用紙でカスタムサイズを作成	はい	いいえ
すべての用紙サイズに出力プロファイルを適用	いいえ	はい
1つの用紙サイズに出力プロファイルを適用	はい	いいえ
トレイ/カセットの設定に基づく新しい用紙の追加	はい	はい
ワンステップカラー管理のサポート	はい	はい
ゼロタッチ再キャリブレーションのサポート	はい	はい
カタログのインポート/エクスポート（対応エンジンの場合）	はい	はい
カタログのバックアップ（対応エンジンの場合）	はい	はい
SPD（ページ設定デバイス）対応	はい	はい
JDF（ジョブ定義形式）のサポート	はい	はい

## メリット：

全体的な用紙エン트리数が減ることには、以下のようなメリットがあります。

- ソートや管理がより簡単になります。
- エン 트리数が少なくなるので、リスト内の特定の用紙にすばやく移動できます。
- ワークフローが簡易化されるので、用紙詳細エン 트리でエラーが起きる可能性が減ります。
- 用紙タイプのカラー管理が大幅に簡易化されます。
- すべての用紙サイズがまとめてカラー管理されるので、ワンステップカラー管理とゼロタッチ再キャリブレーションが補完されます。

## 使用可否：

カット紙対応外部サーバー	Fiery サーバーの資料でサポート状況を確認
カット紙対応組み込みサーバー	Fiery サーバーの資料でサポート状況を確認
サーバー機能がクライアント機能か	サーバー

## Paper Catalog/メディアカタログのグローバルな編集

Fiery FS600 Pro サーバーでは、キュー内のジョブに関連付けられている用紙や Paper Catalog エン トリの編集に関する制限が撤廃されました。つまり、ジョブで既存の用紙か Paper Catalog エン トリが使用されていて、このエン トリが編集または削除された場合でも、ジョブでは元のエン トリがジョブのプロパティに保持され、カタログへの関連付けが削除されるので、編集や削除により前のジョブが影響を受けることはありません。

この機能により、オペレーターがジョブと関連付けられている用紙や Paper Catalog エン トリを編集できるようになりました。Fiery FS600 Pro サーバーでは、すでに使用されているカタログエン トリの編集に制限はありません。ジョブにすでにエン トリが割り当てられている場合、そのエン トリを編集または削除すると、ジョブでは元のエン トリがジョブのプロパティに保持され、カタログの関連付けは削除されます。

## メリット：

- ユーザーがエン 트리編集を行う前に、カタログエン トリの関連付けをジョブから解除する必要がなくなるので、用紙や用紙カタログのアップデートに要する時間を大幅に短縮できます。

## 使用可否：

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	標準
サーバー機能がクライアント機能が	サーバー

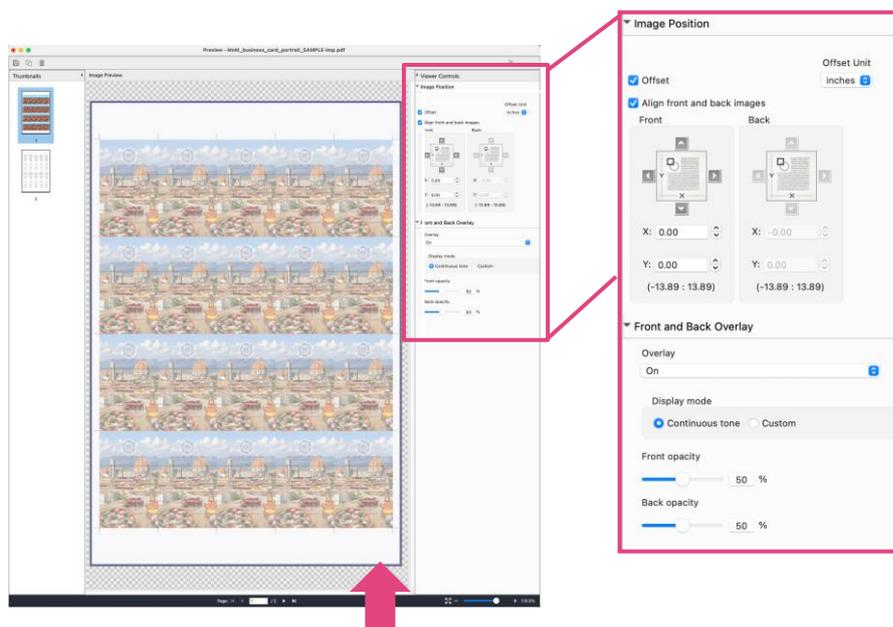
## 視覚的画像シフト

シート上で画像のページ内容を視覚的にずらせるようになりました。これはエンジンの位置ずれを補正したり、根本的な原因がオフセットにあるジョブの問題を修正したり、フィニッシャーの動作（穴パンチやその他の綴じ機能など）に合わせて内容を手動でずらしたりする場合に便利です。

視覚的画像シフトは、プレビューと Fiery ImageViewer の両方で使用できます

（Fiery ColorRight Package か Fiery Graphic Arts Pro Package のライセンスがあるサーバーの場合）。シートのおもてと裏の画像の内容を、視覚的に確認しながらずらすことができます。これまでは、ジョブのプロパティでこの作業を行うことができました（変更内容はジョブが RIP 処理されたときに変更が適用されていました）が、変更内容をライブプレビューで確認することはできませんでした。

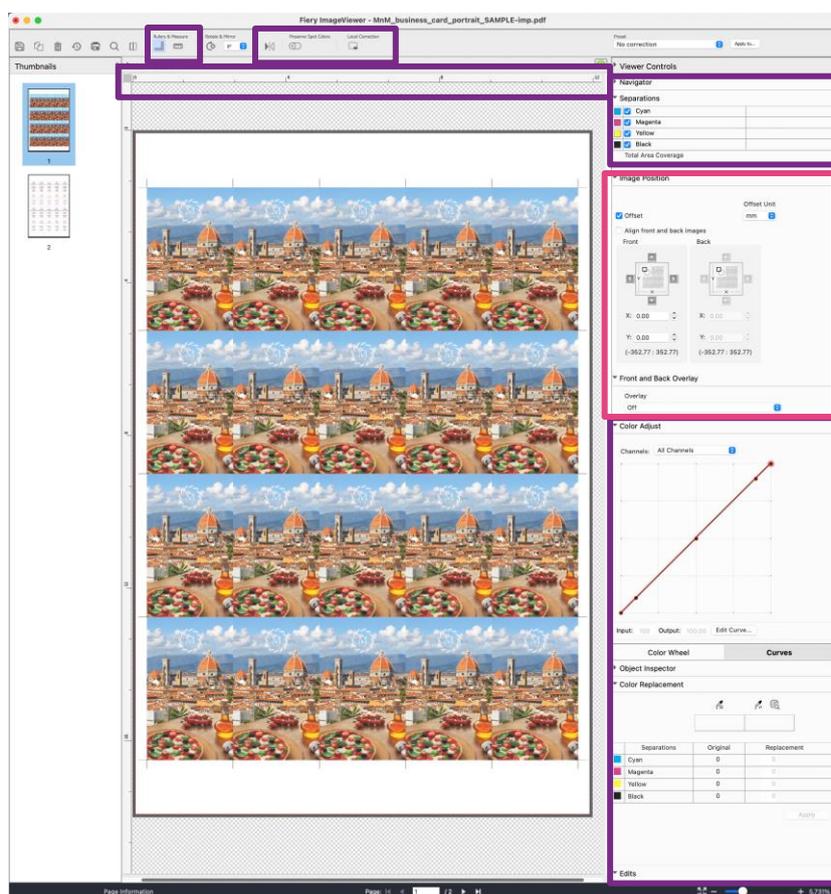
視覚的画像シフトにより、ずらした RIP 処理済みの内容をリアルタイムで確認できるようになったので、正確に調整を行えます。おもてと裏の画像を合わせるか、各ページを個別に調整するかを選択できます。「非印画領域」のオプションがオンになっていると、ページの非印画領域にグレーの境界線が表示されます。これは、ずらした内容がページの印刷可能範囲からはみ出ないようにするのに役立ちます。



Fiery Preview での視覚的画像シフト。右側のサイドバーにある「画像位置」セクションに注目してください。グレーの境界線で囲まれているのは非印画領域です。

視覚的プレビューが表示されるだけでなく、変更は RIP 処理されたファイルに対して行われるので、印刷前にファイルを再 RIP する必要はありません。

Fiery ImageViewer には、その他のメリットもあります。ルーラーと測定ツールを、強化されたズーム機能と組み合わせることで、ずらしたコンテンツをより詳細にプレビューできます。また、Fiery ImageViewer には、他にもカラー曲線の調整やカラーの置換といった便利なカラー編集機能が集約されています。



赤で囲まれた部分が Fiery ImageViewer のビジュアル画像シフトです。紫で囲まれた部分は、Fiery Preview では使用できないその他の ImageViewer 機能です。



[動画を見る](#)

## メリット：

- シート上の内容の配置を調整するための視覚的インターフェイスとして使用でき、校正印刷がほとんど不要になります。

### 使用可否：

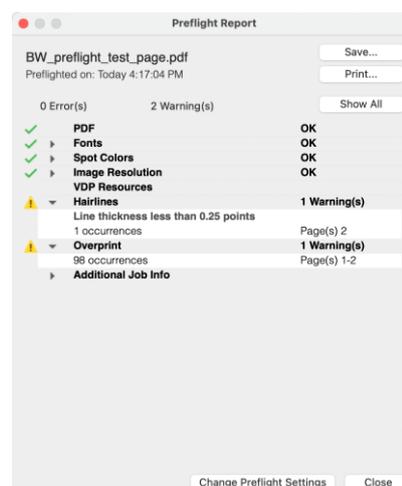
カット紙対応外部サーバー	プレビューの標準機能 オプション - Fiery ImageViewer には <a href="#">Fiery Graphic Arts Pro Package</a> のライセンスが必要
カット紙対応組み込みサーバー	プレビューの標準機能 オプション - Fiery ImageViewer には <a href="#">Fiery ColorRight Package</a> のライセンスが必要
サーバー機能かクライアント機能か	サーバー

## 白黒外部サーバー向け Fiery Preflight

Fiery FS600 Pro 外部白黒サーバーには、Fiery Preflight が標準搭載されています。

Fiery Preflight では、ファイル内の次のような問題を対象に、基本的なプリフライトチェックを行うことができます。

- VDP リソースやフォントなどの要素の欠落
- 解像度が低い画像やオーバープリントなどの潜在的なエラー



Fiery Preflight は、個々のエラーチェック要件に合わせて設定できます。[Fiery Hot Folders](#) を利用して基本的なプリフライトチェックを自動的に実行したり、Fiery Preflight と [JobFlow Base/JobFlow](#) を連携させて、手動操作を必要としない全自動ジョブ検査ワークフローを実行したりできます。

### メリット：

- ジョブの印刷前にファイル内の潜在的エラーを検出し、無駄なクリック操作をなくすことができます。

### 使用可否：

カット紙対応外部サーバー	白黒外部サーバーに標準搭載
カット紙対応組み込みサーバー	使用不可
サーバー機能かクライアント機能か	サーバー

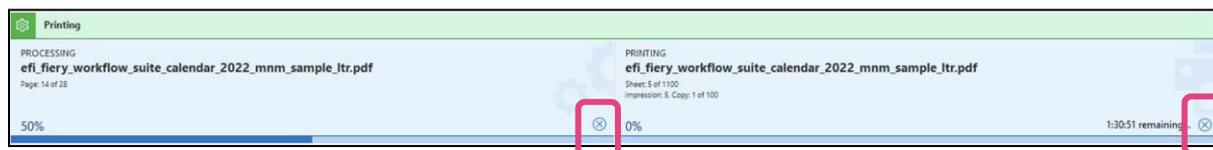
## Fiery Command WorkStation の機能強化

Fiery Command WorkStation 6.8 には、以下の機能が含まれています。これらの機能により、印刷用ファイルの設定がよりスピーディかつ柔軟に行えます。また、ジョブやサーバーの管理に役立つ新しい機能もあります。

- 簡単なジョブのキャンセル
- サーバーIP アドレスの可視化
- ジョブ名の迅速な編集
- 拡張された出力プロファイル名
- カスタマイズ可能なサーバーリスト
- Paper Catalog/メディアカタログのお気に入り
- 印刷の残り時間
- メイクレディマルチタスク処理のパフォーマンス環境設定

### 簡単なジョブのキャンセル

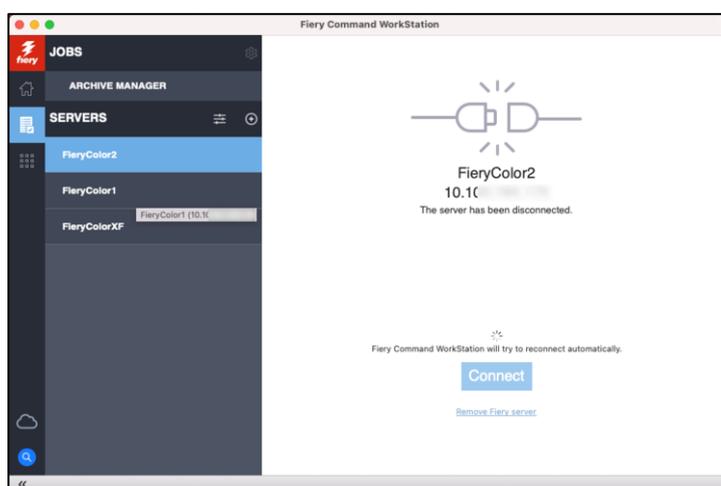
ジョブの処理中や印刷中はいつでもキャンセルボタンが表示されているので、ユーザーはより迅速に作業を中止できます。



処理中および印刷中のジョブに対するキャンセルボタンの固定

### サーバーIP アドレスの可視化

Command WorkStation 6.8 では、ユーザーがサーバー一覧の名前にマウスを置いたときに、Fiery サーバーの IP アドレスが表示されます。IP アドレスは、サーバーの接続時および切断時のどちらでも表示されます。これにより、デバイスセンターやサーバーマネージャーでサーバーの IP アドレスを調べる手間が省けます。



マウスオーバーで、サーバー一覧および切断されたサーバーのメインウィンドウに表示される IP アドレス

Command WorkStation のメインウィンドウに切断されたサーバーの IP アドレスを表示することで、そのサーバーの再接続やトラブルシューティングを容易に行うことができます。

## ジョブ名の迅速な編集

ユーザーは、ジョブ概要ウィンドウで、長めのジョブ名をより簡単に編集できるようになりました。ジョブ名やその他のフィールドの編集は、右にスクロールして編集ボタンを探すことなく行えるので、利便性が高く、ジョブ管理をスピードアップします。



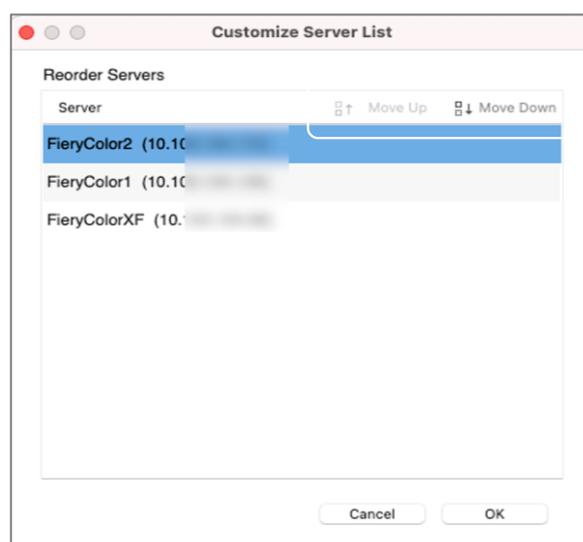
## 拡張された出力プロファイル名

ジョブのプロパティで、ユーザーは新たに拡張したプロファイルプルダウンメニューのカラーおよびクイックアクセスのセクションから出力プロファイル名をすべて確認できます。長めの記述名が表示されることで、オペレーターはより簡単に、より速く正しいプロファイルを選択することができます。

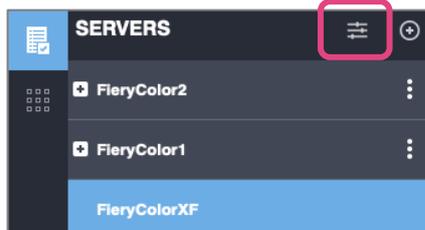


## カスタマイズ可能なサーバーリスト

オペレーターは、サーバー一覧にある Fiery サーバーを、印刷ルームの要件に合わせてより論理的な順序に並べ替えることができます。サーバー一覧の上部にあるスライダーバーのアイコンからアクセスできる「サーバー一覧のカスタマイズ」ダイアログで、サーバーを上下に移動させて、最も生産性の高い順番にできます。これにより、アルファベット順、プリンタータイプ別、あるいは印刷会社のプリンターの配置を反映させることができます。サーバーは接続されていなくても並び替えが可能です。



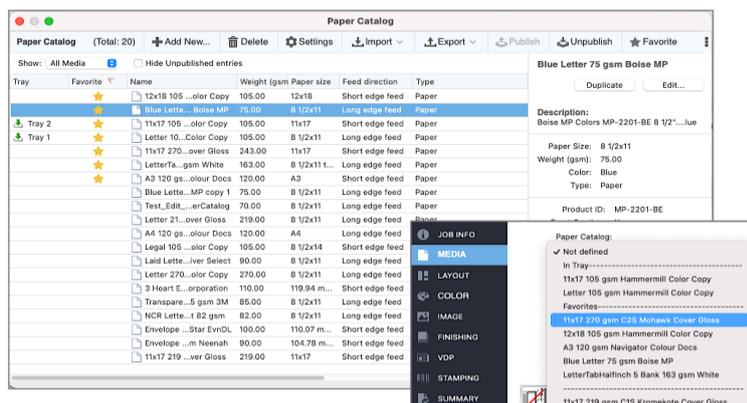
「上へ」および「下へ」ボタンのあるダイアログ



サーバー一覧アイコンのカスタマイズ

## Paper Catalog/メディアカタログのお気に入り

ジョブのプロパティで用紙の種類をより速く選択できるように、エントリを「お気に入り」としてマークできます。このことは、多くの用紙の種類を扱う印刷環境では特に有効です。



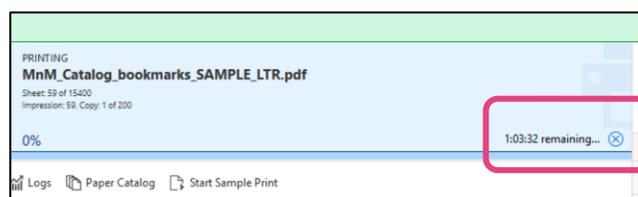
Paper Catalog ダイアログボックスでのお気に入り追加後のジョブのプロパティでの選択

Paper Catalog/メディアカタログのダイアログボックスで、ユーザーは右クリックまたは Paper Catalog/メディアカタログウィンドウの上部にあるボタンを使用して、この新しいタグのチェックのオンとオフを切り替えられます。

ジョブのプロパティで、お気に入りは「トレイ内」エントリの後に専用セクションで表示され、リストの上位近くに配置されるので、より迅速に選択することができます。

## 印刷の残り時間

印刷が開始されると、印刷が終了するまでの推定時間を表示する機能です。印刷ウィンドウの印刷プログレスバーの上に残り時間が表示され、ユーザーの生産計画に役立てることができます。これは Fiery Ticker に表示され



印刷の残り時間 (時:分:秒)

る情報と同じもので、残りの秒数の詳細が追加されています。

### メリット：

- ファイルや Fiery サーバーをより迅速かつ効率的に管理できます。
- 必要なサーバーにすばやく移動できます。
- オペレーターがより緻密なプロダクション計画を立てるのに役立ちます。
- 使用頻度の高い用紙の種類をすばやく選択できます。

### 使用可否：

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	標準
サーバー機能がクライアント機能が	クライアント

## メイクレディマルチタスク処理のパフォーマンス

### 環境設定

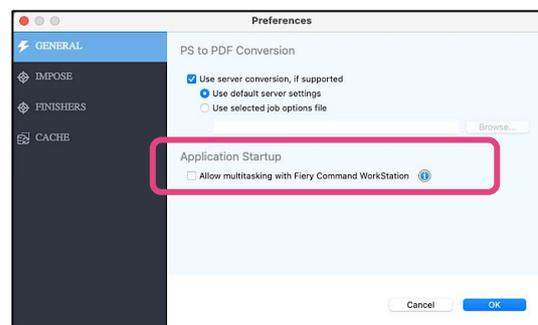
環境設定で「*Command WorkStation* を使用したマルチタスクを許可する」を選択すると、

ユーザーは、面付けおよびメイクレディの作業中に、*Command WorkStation* ウィンドウでアクテ

ィブにジョブを管理することができます。この環境設定を選択すると、Fiery Command WorkStation および Fiery のメイクレディアプリケーション（Fiery Impose、Fiery Compose、または Fiery JobMaster）の開いているウィンドウをアクティブに切り替えることができます。ただし、マルチタスクになると、メイクレディアプリケーションの起動やロードに要する時間が長くなる場合があります。

メイクレディアプリケーションの起動時間の短縮を優先するため、「*Command WorkStation* を使用したマルチタスクを許可する」のデフォルト環境設定はオフになっています。ユーザーがメイクレディ作業とジョブキューの管理をマルチタスクで行いたい場合、Fiery Impose、Compose、JobMaster の環境設定からこの機能を有効にすることができます。

注意：この機能は Fiery Preview には適用されません。





Fiery の推奨事項：

**マルチタスクオフ：** Command WorkStation に戻る前に、ジョブのすべてのメイクレディ作業にフォーカスして完了します。

**マルチタスクオン：** メイクレディアプリケーションでジョブを開いたまま、ウィンドウをアクティブに切り替えて Command WorkStation のジョブキューを管理し、面付けや、その他のメイクレディ操作などを実行します。

**メリット：**

- ユーザーが Fiery メイクレディアプリケーションを使用する際に、生産性を優先するかを選択できます。

**使用可否：**

カット紙対応外部サーバー	オプション - Fiery Impose、Fiery Compose、または Fiery JobMaster のライセンスが必要
カット紙対応組み込みサーバー	オプション - Fiery Impose、Fiery Compose、または Fiery JobMaster のライセンスが必要
サーバー機能かクライアント機能か	クライアント

## 連携

### Microsoft Windows 10 IoT Enterprise LTSC 2021

新しいサーバーには、最新バージョンの Windows 10 がインストールされた Microsoft® Windows® 10 IoT Enterprise LTSC 2021 が搭載されていて、これには 21H2 までの全バージョンで提供された累積的な機能強化が含まれています。



このバージョンの OS では、Fiery のお客様にマイクロソフトの最新の機能とセキュリティ強化が提供され、Intel CPU、I/O、RAID、グラフィックカードなど、最新のハードウェアテクノロジーがサポートされます。



加えて、Microsoft Chromium ベースの Edge ブラウザーがデフォルトで付属し、現在および将来の Web アプリケーションや Web サイトとの互換性を提供します。

#### メリット：

- 最新のセキュリティ機能が提供されます。
- 長期サポートにより、2031 年までのセキュリティアップデートが保証されます。

#### 使用可否：

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	使用不可
サーバー機能がクライアント機能が	サーバー

### Debian 11 Linux

Fiery 組み込みサーバーのオペレーティングシステムは、Debian 11 Linux にアップグレードされました。Debian オペレーティングシステムの最新の安定版リリースです。



このバージョンでは、OS のコアコンポーネントに新しいセキュリティ機能といくつかの機能強化が追加され、今後の OS セキュリティアップデートを受けられる期間が延長されます。

debian



### メリット：

- 安定性とセキュリティが強化されます。

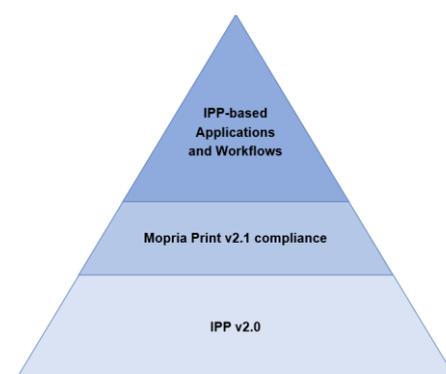
### 使用可否：

カット紙対応外部サーバー	使用不可
カット紙対応組み込みサーバー	標準
サーバー機能がクライアント機能が	サーバー

## IPP 2.0 対応

Fiery サーバーで、IPP 2.0 の操作と属性を扱えるようになりました。このバージョンでは、クラウド印刷、認証、管理などの最新の IPP ベースのワークフローやアプリケーションと Fiery サーバーを統合できます。

この業界標準に準拠したことで、ドライバーレス印刷などの新たな用途や、Microsoft のユニバーサルプリント、PaperCut などのクラウド中心のワークフローに対応できます。



### メリット：

- Fiery とサードパーティ製ソリューションとの統合が円滑に進みます。

### 使用可否：

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	標準
サーバー機能がクライアント機能が	サーバー

## Mopria Print Service に準拠

Mopria® Print Service は、Mopria 認定のプリンターや多機能デバイスでシンプルかつシームレスに印刷を行うための手段です。これを使用することで、ソフトウェアやドライバーを追加でインストールする必要がなくなり、どのブランドのプリンターでも簡単に印刷できます。



Fiery FS600 Pro サーバーは、Mopria Print Service バージョン 2.1 に準拠しています。この準拠により、ユーザーエクスペリエンスが最適化され、オフィス内やライトプロダクション市場に存在するレガシーアプリケーションや今後登場するアプリケーションとの相互運用性が保証されます。

Mopria Print Service は、Microsoft、Adobe、Google といった大手の IT ソリューションプロバイダーだけでなく、大半の印刷 OEM や画像処理 OEM によってサポートされています。



[Web ページに移動する](#)

### メリット：

- 印刷が最適化され、オフィスやライトプロダクション市場向けアプリケーションとの互換性が向上します。

### 使用可否：

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	標準
サーバー機能がクライアント機能か	サーバー

## Microsoft のユニバーサルプリントのネイティブサポート

ユニバーサルプリントは、Microsoft®が提供するクラウドベースの印刷管理ソリューションです。ユニバーサルプリントを使用すると、IT 管理者が印刷管理をクラウドに移行して IT インフラストラクチャのコストを削減できます。

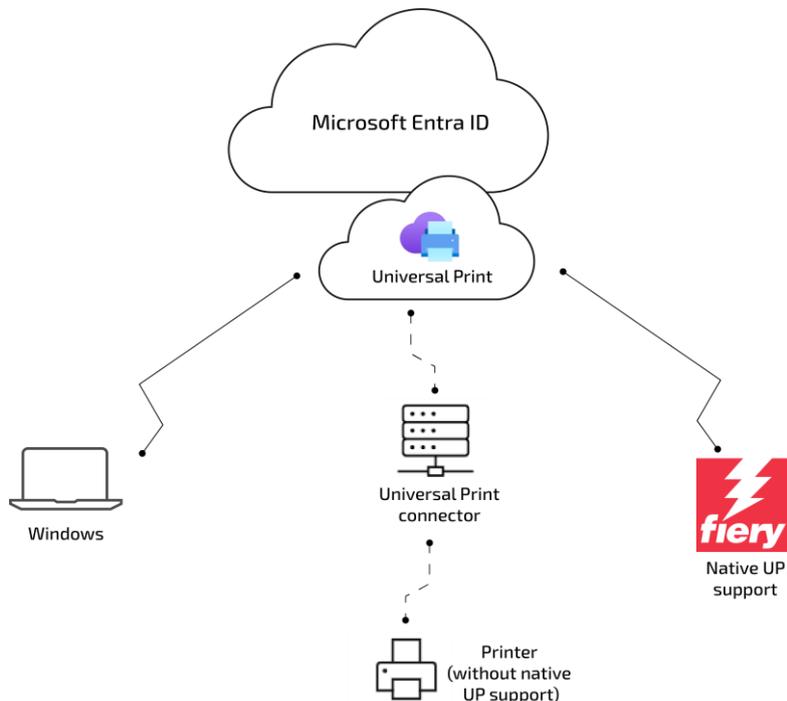
Microsoft Entra ID (Azure Active Directory) と完全に統合されており、シングルサインオンのシナリオをサポートしています。

ユニバーサルプリントは、リモート/ハイブリッドワーク環境でのセキュアなクラウドベースの印刷と管理に対するビジネス需要に対応します。



Universal Print

Fiery FS600 Pro サーバーは、ユニバーサルプリントをネイティブにサポートしています。IT/プリンター管理者は、インフラストラクチャやコネクタを追加することなく、直接シームレスに Fiery サーバーをユニバーサルプリントポータルに接続できます。



[Web ページに移動する](#)

### メリット：

- Fiery サーバーを、インフラストラクチャを追加することなくシームレスにユニバーサルプリントポータルに接続できます。

### 使用可否：

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	標準
サーバー機能がクライアント機能か	サーバー



## Fiery IQ クラウドサービスの統合

Fiery Command WorkStation では、Fiery IQ™クラウド機能を利用して、Command WorkStation の設定をバックアップしたり、復元したりできます。これにより、ユーザーは自分の設定を（全部または選択した設定のみ）クラウドにバックアップし、同じまたは別の Command WorkStation クライアントに容易に取り出すことができ、また他のユーザーと設定を共有することができます。



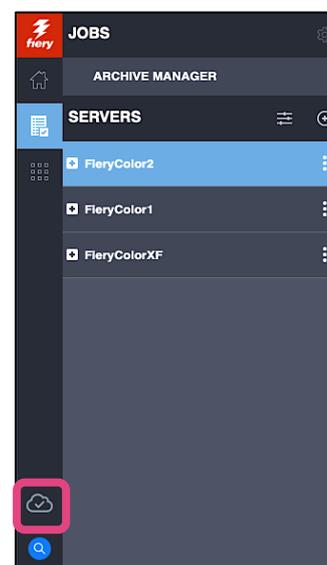
Fiery Command WorkStation は、次の目的で無料のクラウドサービスを使用します。

- クライアント設定のバックアップと復元
- 他のチームメンバーとのクライアント設定の共有
- Command WorkStation からの Fiery IQ クラウド分析の起動

Command WorkStation のメインウィンドウに、Fiery IQ クラウドの環境設定に直接アクセスできるクラウドアイコンがあります。ユーザーは、会社の既存の IQ アカウントを使用してサインインし、クライアントの設定のバックアップ、復元、チーム内の他のユーザーとの共有を行います。この単一アカウントにより、すべての個人ユーザーが同じ情報やクラウドリソースにアクセスできるようになります。

### メリット

- 簡単なプロセスで、Fiery Command WorkStation のすべてのインスタンスに同じ設定を保持できます。
- IQ アプリケーションへのオンボーディングが簡単になります。



### 使用可否

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	標準
サーバー機能かクライアント機能か	クライアント

## セキュア

### FIPS 140-2 準拠のデータ暗号化

Windows 10 2021 LTSC と Fiery FS600 Pro ソフトウェアを搭載している Fiery DFE を、FIPS 140-2 データ暗号化ガイドラインに沿うように設定できます。



FIPS 140-2 モードの Fiery DFE では、保存中のデータと転送中のデータの暗号化に、暗号モジュール認証プログラム (CAVP) によって検証され認定された暗号アルゴリズムのみが使用されます。

#### メリット：

- 暗号化モジュールが米国連邦政府によって規定される高度なセキュリティ標準に適合することが保証され、機密データのセキュリティと完全性が強化されます。

#### 使用可否：

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	使用不可
サーバー機能かクライアント機能か	サーバー

### セキュアイレース (NIST 800-88 準拠)

米国国立標準技術研究所特別刊行物 800-88 リビジョン 1 (NIST 800-88) は、データサニタイズに関する米国政府の規格です。その目的は、ストレージメディア上から削除されたあらゆる顧客データを復元不能にすることです。



Windows 上で動作するすべての Fiery FS600 Pro DFE で利用できるこの機能により、Fiery 管理者は、サーバーに格納された実際のデータをすべてセキュアに消去して、ディスクドライブを交換または廃棄する際のデータの漏洩を防止できます。

#### メリット：

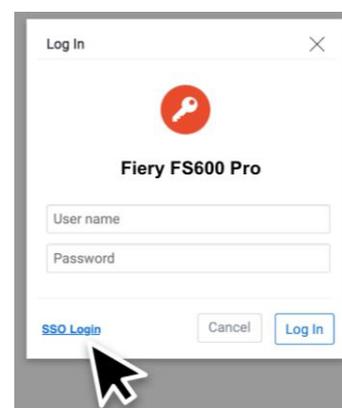
- ストレージメディア上に存在するあらゆるデータを、確実に復元不能にできます。
- データ漏洩のリスクが低下します。
- 業界の規制に準拠できます。

## 使用可否：

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	使用不可
サーバー機能がクライアント機能が	サーバー

## SSO（シングルサインオン）でのログイン

ユーザーが既存の AAD（Azure Active Directory）ログイン情報を使用して Fiery サーバーにログインできるようになりました。多要素認証/2 要素認証（MFA/2FA）のワークフローに対応しています。たとえば、CAC（共通アクセスカード）やモバイルアプリなどを使用してログインできます。



## メリット：

- セキュリティが強化されます。
- Fiery の IT 親和性が高まります。
- クラウドベースの認証と認証ソリューションに対応できます。
- 業界のコンプライアンス要件を満たせます。

## 使用可否：

カット紙対応外部サーバー	標準
カット紙対応組み込みサーバー	使用不可
サーバー機能がクライアント機能が	サーバー

## Fiery 高セキュリティキット v1.0

この新しいオプションキットを使用すれば、不正アクセスとシステムの改ざんに対する保護を強化し、FIPS 140-2 やコモンクライテリアといった業界の規制と標準に完全に準拠できます。

キットにはトラステッドプラットフォームモジュール（TPM）が付属し、ブートドライブを暗号化できます。





**メリット：**

- 不正アクセスとシステムの改ざんに対する保護を強化できます。
- 業界のコンプライアンス要件を満たせます。

**使用可否：**

カット紙対応外部サーバー	特定の Fiery NX ハードウェアプラットフォームではオプション、資料で使用可能性を確認
カット紙対応組み込みサーバー	使用不可
サーバー機能かクライアント機能か	サーバー

## 修正/削除された機能

### 送信順印刷の削除

Fiery FS600 Pro/FS600 サーバーでは、送信順印刷は提供されなくなりました。

この機能は、Fiery FS400 Pro/FS400 で初めて導入された、きちんと順序に従った印刷に置き換えられています。

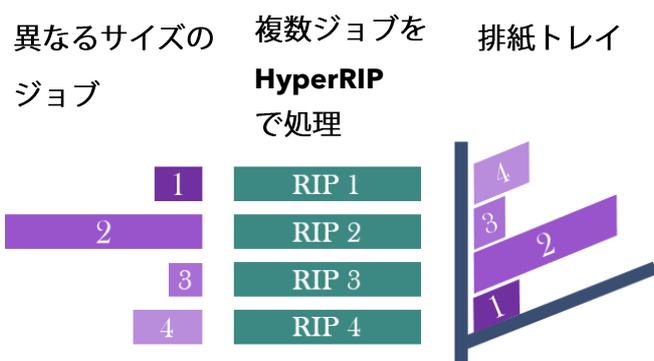
きちんと順序に従った印刷では、Fiery Command WorkStation からオペレーターが選択したジョブが必ず順番どおりに印刷されます。あるジョブがキュー内の先行するジョブよりも先に処理を終えても、そのジョブの順番は印刷キューに送信された順番から変わりません。これにより、予測どおりの順番で印刷物が出力され、仕上げや割り振り処理を効率化できます。

きちんと順序に従った印刷では、送信順印刷にあった制限がいくつか解決されています。

- 送信順印刷は、RIP-While-Print や RIP-White-Spool をサポートしていませんでした。それぞれのジョブを完全に RIP 処理してから印刷を開始する必要があり、プロダクションのスピード感が失われていました。
- 送信順印刷は、すでに Fiery サーバーで待機中のジョブには使用できませんでした。
- 状況によっては、ジョブが順番どおりに印刷されない可能性があります。

一部のケースでは、きちんと順序に従った印刷の方が、送信順印刷よりもジョブの処理が大幅に高速化されます。

きちんと順序に従った印刷では、オペレーターが割り込み印刷や次を印刷などの高度なジョブ管理機能を使用して、厳密な順序のルールを上書きできます。



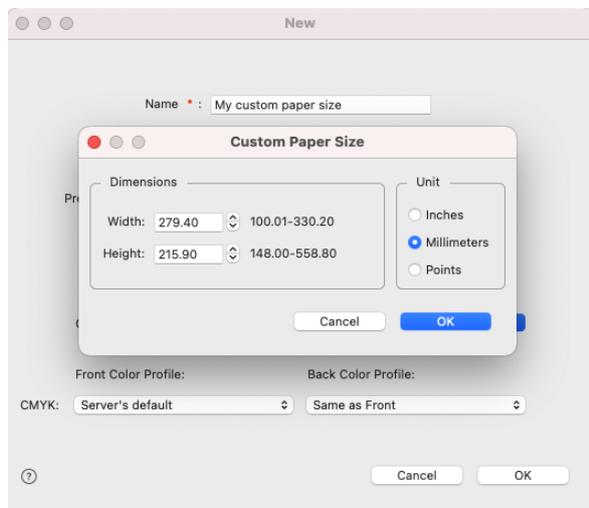
印刷用に送信した時  
に Command  
WorkStation に表示  
されるジョブの順序

すべてのジョブ  
を並行処理

一部のジョブが先に処理される場合でも、印刷出力は、ジョブが送信された順序に従う

## 正確な用紙サイズ変換

オペレーターがインチ、ミリメートル、ポイントでカスタムページサイズを定義できるようになり、ページサイズ変換の精度が向上しました。



[メディアカタログ/Paper Catalog に追加されたカスタム用紙サイズ](#)

## スポットカラーライブラリの M1 モード

すべての Fiery デフォルトのスポットカラーライブラリが、M1 測定モードベースになりました。この新しいデフォルトは、スポットカラー測定にも適用されます。

M0、M2、M3 ベースのライブラリは、FS600 Pro サーバーで引き続き使用できます。

### メリット：

- ライブラリで使用されている測定モードがユーザーに明確になります。
- より正確なマッチングにつながる測定結果を作成できます。

## Fiery ラーニング



### 無料の学習リソース

[Fiery ラーニング](#)には、自分のペースで進められる Web ベースの無料コース、ビデオ、実用的なガイドなど、多忙な中でも取り組みやすく、ニーズに合わせて選択できるさまざまな学習リソースが揃っています。

- e ラーニングコース：インタラクティブなオンラインラーニングセッション
- シミュレーションラーニング：リアルな没入型環境で、技術やプロセスの演習に取り組むことができるラーニングソリューション
- エクスプレスビデオ：Fiery の分野エキスパートが制作した、重要トピックに関する短いビデオ
- ウェビナー：学習用の継続的な無料ウェビナープログラムとして、カラーのプロフェッショナルや、印刷会社およびインプラント/CRD 業務のオーナー、マネージャー向けの World of Fiery ウェビナーの録画を視聴可能
- ハウツーガイド：サンプルファイルを使用して詳細な手順を解説

### Fiery 認定プログラム

今日の急速に変化する世界において、印刷のプロフェッショナルが生産性やキャリアのレベルを高めるには、コストを抑えながらスピーディに新しいスキルや資格を習得できる便利な手段が必要です。競合他社の一歩先に進みましょう。Fiery の認定プログラムを取得すれば、印刷のプロフェッショナルとして職場で差をつけることができます。

#### Fiery プロフェッショナル認定

Fiery プロフェッショナル認定は、Fiery のテクノロジーソリューションのパフォーマンスを最適化するスキルを学べる、印刷プロフェッショナル向けプログラムです。Fiery の分野エキスパートが開発したこのプログラムでは、従業員のスキル向上やキャリア開発の促進、印刷ビジネスの変革を目的として、Fiery テクノロジーに関する最新情報が提供されます。



## Fiery エキスパート認定

Fiery エキスパート認定は、Fiery プロフェッショナル認定を受けた人が、より深い専門知識を身に付けるためのプログラムです。このエキスパートコースでは、Fiery の高度なツールセットに関する知識を身に付け、あらゆる機能の使い方を習得できます。

## Fiery の技術者認定制度

Fiery の技術者認定制度プログラムでは、Fiery テクノロジーソリューションのパフォーマンスを最適化し、適切に管理するために必要なツールとスキルをサービス技術者に提供しています。

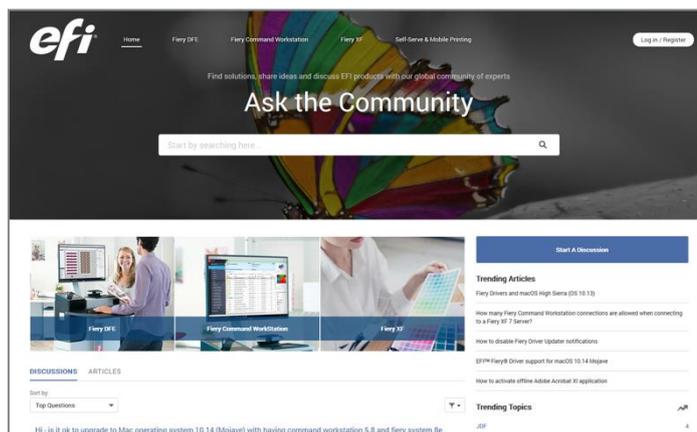
## Ghent PDF Output Suite5.0 準拠認定

Fiery Driven™印刷システムで Ghent PDF Output Suite 5.0 準拠認定を取得すると、PDF/X-4 標準に準拠できるだけでなく、印刷物が安全に取り扱われていることも示せるため、顧客マーケティングツールとしても高い効果を発揮します。

Fiery 認定プログラムに関する詳細を確認する場合や、登録する場合は、[こちらの Web ページ](#) をご覧ください。

## Fiery コミュニティ

Fiery は、カスタマーエンゲージメントプラットフォームである [Fiery コミュニティ](#) を主催しています。ここでは、エキスパートが集まる当社のグローバルコミュニティを利用して、ソリューションを見つけたり、アイデアを共有したり、Fiery 品についてのディスカッションに参加したりすることができます。



Fiery コミュニティのランディングページ

Fiery コミュニティには、そのほかにも次の有用な機能があります。

- 一般的な問題や既知の問題に対するソリューションとして Fiery のテクニカルサポートチームが作成した技術記事で構成される、検索可能なナレッジベース
- 関心のあるトピックや特定領域のトピックを「フォロー」できる機能
- ユーザーのサイトでの過去のアクティビティに基づいて、動的にパーソナライズされるフィード
- 複数のソリューションの中から、「最適な」答えを選択できる機能
- モバイル対応のデザイン
- ライセンス関連の質問に迅速に対応できる自動チャットオプションの Fiery Licensing Assistant

## その他のリソース

以下の営業資料、トレーニング資料、および技術資料は、Fiery の印刷サーバーおよび関連する製品やアプリケーションに関する知識を拡充するのに役に立ちます。

Fiery サーバーのメインページ	<a href="https://fiery.com">fiery.com</a>
Fiery オンラインリソース	<a href="https://resources.fieri.com">resources.fieri.com</a>
Fiery パートナーが販売する Fiery デジタルフロントエンドの詳細	<a href="https://fiery.com/partners">fiery.com/partners</a>
Fiery プロダクションソリューション	<a href="https://solutions.fieri.com/production-solutions">solutions.fieri.com/production-solutions</a>
Fiery Workflow Suite	<a href="https://fiery.com/workflow-suite">fiery.com/workflow-suite</a>
Fiery とサードパーティ製ソフトウェアの統合	<a href="https://fiery.com/integration">fiery.com/integration</a>
Fiery ドライバーのダウンロード	<a href="https://download.fieri.com/drivers">download.fieri.com/drivers</a>
Fiery Command WorkStation のメインページ	<a href="https://fiery.com/cws">fiery.com/cws</a>
Fiery ソフトウェアの無料トライアルのリクエスト	<a href="https://fiery.com/free-trials">fiery.com/free-trials</a>
Fiery ラーニングのトレーニングリソース	<a href="https://learning.fieri.com">learning.fieri.com</a>
Fiery コミュニティ	<a href="https://fiery.com/communities">fiery.com/communities</a>



For more information, please visit [fiery.com](https://fiery.com).

Nothing herein should be construed as a warranty in addition to the express warranty statement provided with Fiery, LLC products and services.

ColorGuard, ColorRight, Command WorkStation, ColorWise, Fiery, the Fiery logo, Fiery Compose, Fiery Driven, the Fiery Driven logo, Fiery Edge, Fiery Essential, Fiery HyperRIP, Fiery Impose, Fiery Impress, Fiery ImageViewer, Fiery Intensify, Fiery JobExpert, Fiery JobFlow, Fiery JobMaster, Fiery Prep-it, Fiery Prints, the Fiery Prints logo, Fiery TrueBrand, FreeForm, MicroPress, IQ, PrintMe, RIPChips, RIP-While-Print, Spot-On, Spot Pro, and WebTools are trademarks or registered trademarks of Fiery, LLC and/or its wholly owned subsidiaries in the U.S. and/or certain other countries. All other terms and product names may be trademarks or registered trademarks of their respective owners and are hereby acknowledged.

© 2023 FIERY, LLC. ALL RIGHTS RESERVED.

FTL\_001.01.23\_JP